2

Panasonic®

取扱説明書 基本ガイド

パーソナルコンピューター

品番 CF-W8 シリーズ

紙で見る（もくじ：2ページをご覧ください）

はじめに見る	『**取扱説明書 準備と設定ガイド**』最初に「付属品の確認」で付属品を確認してください。
次に見る	『**取扱説明書 基本ガイド**』（本書）
困ったときに見る	『**取扱説明書 基本ガイド**』（本書）**の「このパソコンにトラブルがあったときは」**

画面で見る（もくじ：5ページをご覧ください）

『操作マニュアル』/『困ったときのQ&A』
インターネットやセキュリティ、バッテリーなど、本機をより活用するための機能を説明しています。また、使用上のトラブルなどについて、原因や解決方法も説明しています。

[スタート]-[操作マニュアル]をクリックして表示できます

『ハードディスクの取り扱いについて』
『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』
『内蔵モデムコマンド一覧』

表示方法は19ページをご覧ください

は画面で見るマニュアルのマークです。

この表示は、DVD-RAMディスクにVRフォーマット（ビデオレコーディングフォーマット）で映像·音声を記録する機能または、VRフォーマットで記録されたDVD-RAMディスクの再生機能をあらわします。

保証書別添付

このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（6～10ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 製品の品番は、本体底面の品番表示または「仕様」でご確認ください。

もくじ

本機を安全・快適に、そして便利に活用していただくために、次の説明書を用意しています。

『取扱説明書 準備と設定ガイド』 はじめに必ずお読みください。	・初めてお使いになるとき（ご使用前の準備・設定や付属品の確認） ・消耗品、別売り商品、アフターサービスについて知りたいとき
『取扱説明書 基本ガイド』（本書）	・基本操作や仕様などの情報を知りたいとき ・困ったとき（画面で見るマニュアルが見られない場合）
画面で見る『操作マニュアル』と『困ったときのQ&A』	・本機の機能・操作・活用方法を知りたいとき ・セキュリティ機能について知りたいとき ・困ったとき

●困ったとき

このパソコンにトラブルがあったときは

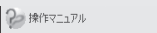
起動/終了/スタンバイ/休止状態のQ&A

パスワード/メッセージのQ&A

もくじ

画面で見る『操作マニュアル』

本機の機能詳細・操作・活用方法やセキュリティ機能について知りたいときにご覧ください。
スタート - 操作マニュアル をクリックし、操作マニュアル をクリックしてください。

- インターネット
- 電子メール
- 無線LAN
- セキュリティ
- バッテリー
- ホイールパッド
- キーボード
- レッツノート活用
- アプリケーションソフト
- 周辺機器
- CD/DVD ドライブ

画面で見る『困ったときのQ&A』

本機が正常に動作しないなどのトラブルが発生したときにご覧ください。
スタート - 操作マニュアル をクリックし、困ったときのQ&A をクリックしてください。

- 起動/終了/スタンバイ/休止状態
- パスワード/メッセージ
- インターネット/無線LAN
- バッテリー
- 液晶/画面表示
- タスクトレイ
- 文字入力/キー操作
- CD/DVD ドライブ
- Windows使用時
- ポインター
- サウンド
- アプリケーションソフト
- 周辺機器
- サポートページで調べる
- 本機の使用状態を確認する

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

●誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

●お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

バッテリーパックに関する注意

⚠危険

火中に投入したり加熱したりしない

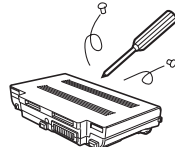
禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

クギを刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしたりしない

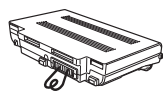
禁止

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

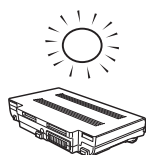
●強い衝撃が加わったら、すぐに使用をやめてください。

プラス（＋）とマイナス（－）を金属などで接触させない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

●ネックレス、ヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管したりしないでください。

火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・使用・放置をしない

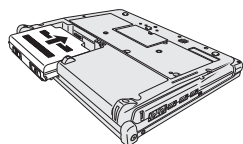
禁止

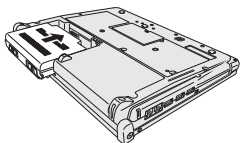
液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

指定の方法で充電する

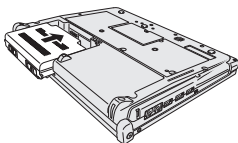
指定の方法で充電しないと、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

バッテリーパックが劣化したら新品と交換する

劣化したバッテリーパックを使用し続けると、発熱・発火・破裂の原因になります。

バッテリーパックに関する注意

⚠危険

付属のバッテリーパックは、必ず本機で使用する

CF-W8シリーズ専用のバッテリーパックです。CF-W8シリーズ以外に使用すると、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

必ず、指定のバッテリーパックを使用する

指定（付属および指定の別売り商品）以外のバッテリーパックを使用すると、発熱・発火・破裂の原因になります。

⚠警告

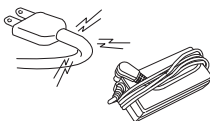
異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く

- 破損した
- 内部に異物が入った
- 煙が出ている
- 異臭がする
- 異常に熱い

などの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- 異常が起きたら、すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、その後バッテリーパックを取り外して、販売店にご相談ください。

電源コード・電源プラグ・ACアダプターを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない）

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

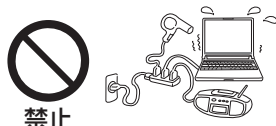
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
  長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

警告

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグの抜き挿しはしない

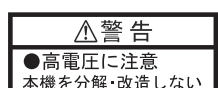
感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に挿し込む

挿し込みが不完全ですと、感電や、発熱による火災の原因になります。

●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

改造しない また、分解しない

⚠警 告
●高電圧に注意
本機を分解・改造しない

[本体に表示した事項]

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
内部の端子や基板に触れたり、異物を入れたりしないでください。
また、改造や分解は火災の原因になります。

本機の上に水などの液体が入った容器や金属物を置かない

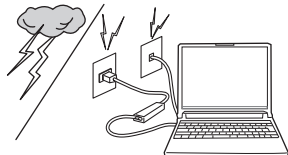
水などの液体がこぼれたり、クリップ、コインなどの異物が中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。

●キーボードに水がかかった場合は、本書の11ページに従ってください。その他の異物が内部に入った場合は、すぐに電源を切って電源プラグを抜き、その後バッテリーパックを抜いて、販売店にご相談ください。

SDメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

雷が鳴り始めたら、本機やケーブルに触れない

感電の原因になります。

長時間直接触れて使用しない

本機やACアダプターの温度の高い部分に長時間、直接触れていると、低温やけど※1の原因になります。

※1 血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人（高齢者）などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

警告

植込み型心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

航空機内では電源を切る※2

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。航空機内での使用については、航空会社の指示に従ってください。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医用電気機器のある場所では電源を切る※2

手術室、集中治療室、CCU※3などには持ち込まないでください。本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるので、電源を切る※2

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

※2 やむをえずこのような環境でパソコン本体を使用する場合は、無線切り替えスイッチを左（OFF側）にスライドしてください。ただし、航空機の離着陸時など、無線の電源を切ってもパソコンの使用が禁止されている場合もありますので、注意してください。

※3 CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

注意

不安定な場所に置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に置かない

禁止

火災・感電の原因になることがあります。

本機の上に重いものを置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

電源プラグを接続したまま移動しない

禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

- 電源コードが傷ついた場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。

高温の場所に長時間放置しない

禁止

火のそばや炎天下など極端に高温になる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、内部の部品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶縁不良などにより火災・感電につながることがあります。

⚠注意

電源コードは、プラグ部分を持って抜く

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

1時間ごとに10～15分間の休憩をとる

長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。

LANコネクターに電話回線や指定以外のネットワークを接続しない

禁止

LANコネクターに以下のようなネットワークや回線を接続すると、火災・感電の原因になることがあります。

- 1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-T以外のネットワーク
- 電話回線（IP電話、一般電話回線、内線電話回線（構内交換機）、デジタル公衆電話など）

モデムは、一般電話回線で使用する

会社、事務所などの内線電話回線（構内交換機）やデジタル公衆電話に接続したり、本機で対応していない国や地域※4で使用したりすると、火災・感電の原因になることがあります。

※4 本機のモデムが対応している国や地域については、75ページをご覧ください。

CD/DVDドライブの内部をのぞきこまない

禁止

内部のレーザー光源を直視すると、視力障害の原因になることがあります。

● 内部の点検・調整・修理は、販売店にご相談ください。

ひび割れたり変形したりしたディスクは使用しない

禁止

高速で回転するため、飛び散ってけがの原因になることがあります。

● 円形でないディスクや、接着剤などで補修したディスクも同様に危険ですので、使用しないでください。

通風孔をふさがない

禁止

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

ACアダプターに強い衝撃を加えない

禁止

落とすなどして強い衝撃が加わったACアダプターをそのまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になることがあります。

● ACアダプターの修理は、販売店にご相談ください。

必ず指定のACアダプターを使用する

指定（付属および指定の別売り商品）以外のACアダプターを使用すると、火災の原因になることがあります。

本装置はレーザー利用機器です。ご注意-ここに規定した以外の手順による制御や調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらします。分解や修理は行わないでください。

使用上のお願い

キーボードに水をこぼしたとき

本機は、キーボード上に水をこぼしてもパソコン内部への水滴の浸入を極力抑えることができる「ウォータースルー構造」（水滴防止構造）をキーボード部に採用しています。

これは、キーボードにかかった水滴を底面の水抜き穴から排水することにより、パソコン内部に水滴がたまることを極力抑えるもので、内部部品やハードディスクの故障/破損、データの破壊/消失などの防止を保証するものではありません。

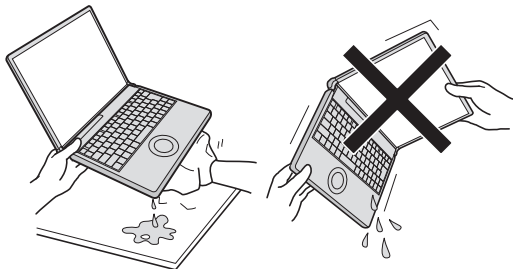
キーボード部が「ウォータースルー構造」です。その他の部分は、「ウォータースルー構造」ではありません。

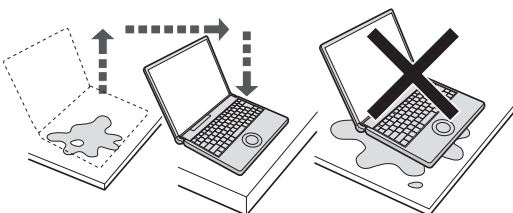
- **万一、水などの液体をキーボード上にこぼしてしまったときは、少量の場合でも必ず次の処置を行ってください。こぼしたまま放置すると、故障の原因になります。「ウォータースルー構造」は、水滴の浸入を完全に防ぐものではありません。**

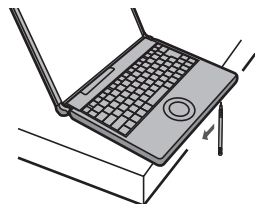
① すぐに電源を切り、ACアダプターを取り外す。

② キーボード上の水滴などを、乾いた柔らかい布でふく。

③ ゆっくりとパソコン本体を水平のまま持ち上げ、そのまま底面の水抜き穴から出た水を乾いた柔らかい布でふく。

途中で傾けると、液体がパソコン内部に浸入して故障の原因になります。

④ パソコンを水平にしたまま、乾いた場所に移動させる。

水が残っている机の上などに本機を置いていると、底面から水が浸入する可能性があります。

⑤ 底面のエマージェンシーホールにボールペンの先などを挿し込み、矢印の方向に動かして、ディスクカバーを開ける。

本体を傾けず、水平のままディスクカバーを開けられるように、机の端などにずらして操作してください。

⑥ CD/DVDドライブの内部に水が入っていないことを確認する。

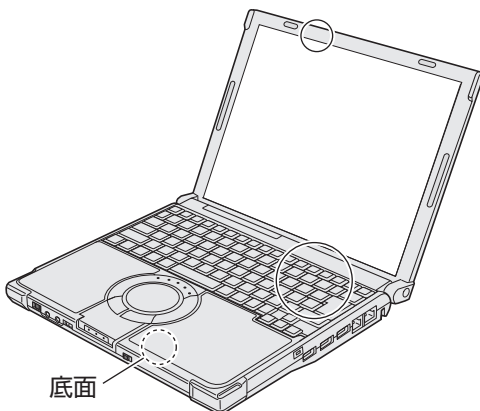
水が入っている場合は、乾いた柔らかい布でふき取ってください。

⑦ ふき取った後、バッテリーパックを取り外す。

⑧ 必ず、修理に関するご相談窓口に点検を依頼してください。

液体をこぼしたことによる修理は、保証期間内でも有料となります。あらかじめご了承ください。

使用／保管に適した環境

- 平らで落下のおそれがない場所
  パソコンが落下すると、本体に衝撃が加わり誤動作や故障の原因になります。
- 使用時の温度：5℃～ 35℃
  湿度：30 % RH ～ 80 % RH（結露なきこと）
  保管時の温度：－20℃～ 60℃
  湿度：30 % RH ～ 90 % RH（結露なきこと）
  上記の範囲内であっても、低温、高温、高湿度など極端に偏った環境で長期間使い続けると、製品の劣化により製品寿命が短くなるおそれがあります。
- 熱のこもらない環境
  - 保温性の高いところ（ゴムシートや布団の上など）での使用は避け、スチール製の事務机など放熱性が優れた場所でお使いください。
  - 放熱の妨げとなりますので、タオルやキーボードカバーなどで覆わずにお使いください。
  - 本体のディスプレイは、開いた状態でお使いください（ディスプレイを閉じた状態でも、発煙・発火・故障のおそれはありませんが、温度が上がらないように動作が遅くなる場合があります）。
- 磁気を発生するものおよび磁気カードなどから離れた場所
  - 磁石、磁気ブレスレットを近づけないでください。
  - 本機は下図の丸印の位置に磁石および磁気製品を使用しています。磁気カードや磁石、磁気ブレスレットなどが触れた状態にしないでください。

長時間連続して使用するなど、使用状態によっては保証期間内でも部品の寿命による交換が必要になる場合があります（有償になる場合があります）。

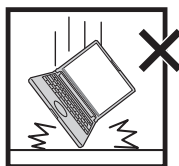
使用中に本機が熱いと感じたら

CPUの動作などにより本機が熱くなることがありますが、故障ではありません。

- **デスクトップの（ファン制御ユーティリティ）をダブルクリックし、[高速]をクリックして[OK]をクリックしてください。**
  - [高速]に設定すると冷却ファンの回転数が上がり、本機の温度を下げることができます。ただし、バッテリーの駆動時間が短くなります。
  - CPUの使用率が高くない場合や、ファンの回転音などが気になる場合は、必要に応じて[標準]または[低速]に設定してください。
- **次の設定を行うと、パソコン内部の発熱を下げることができます。**
  - 無線LANをご利用にならない場合は、無線LANの電源を切ってください。
  - スクリーンセーバーを表示中に本機が熱くなる場合は、スクリーンセーバーを[Windows XP]に設定してください。3D映像を利用するスクリーンセーバーなどの場合、CPUの使用率が高くなってパソコン本体の温度が高くなることがあります。
  - メモリーを増設する場合は当社推奨のRAMモジュールをお使いください。推奨以外のRAMモジュールを取り付けると、発熱量が大きくなったり、正常に動作しなかったりする場合があります。

内蔵ハードディスクのデータ保護

データ保護のために次のことをお守りください。

- **パソコン本体の取り扱いには十分注意し、衝撃を与えない。**

ハードディスクは衝撃に弱く、破損するとデータやWindowsおよびアプリケーションソフトが使えなくなることがあります。

- **Windowsやアプリケーションソフトの動作中およびハードディスク状態表示ランプ の点灯中は、電源を切らない。**

ハードディスクのトラブルを避けるため、[スタート]メニューから電源を切ってください。

- **磁気を発生するもの（磁石、磁気ブレスレットなど）を近づけない。**

ハードディスクに保存されていたデータが消失するおそれがあります。

- **データの機密保護としてセキュリティ機能を活用する。**

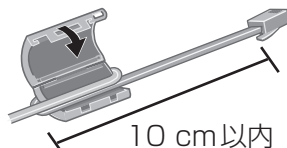
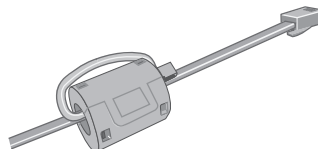
➡ 『操作マニュアル』「（セキュリティ）」

『ハードディスクの取り扱いについて』もご覧ください。（➡19ページ）

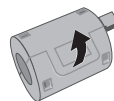
モジュラーケーブル使用時

お客さまのお買い求めになったモジュラーケーブルを本機に取り付けて、テレビやラジオの近くで使用されますと、受信障害を発生することがあります。
本機に付属のコアを必ずモジュラーケーブルに取り付けてください。

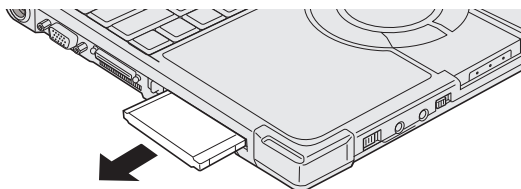
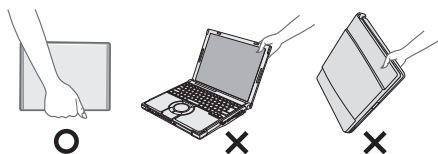
- **取り付け方**

① コネクターから10 cm以内の位置でケーブルを1重巻きにする。

② コアのつめがしっかりとかむまで押さえて閉じる。

③ コアを取り付けた側のコネクターをパソコン本体のモデムコネクターに接続する。

- **コアの開け方**

ピンセットなどでコアのつめを外します。

持ち運ぶとき

お守りください

- 本機は、ハードディスクドライブなどへの衝撃が小さくなるように設計されていますが、衝撃による故障は保証しかねます。本機は精密機器ですので、取り扱いには十分注意してください。
- 電源を切る。
- 外部装置やケーブル、本体から突き出たPCカード、SDメモリーカードなどをすべて取り外す。

- ディスプレイやディスプレイの周りのキャビネット部を持って運ばない。

● 落としたり机の角など硬いものにぶつけたりしない。

● 航空機利用時は次のことを守る。

・パソコンやディスクなどは、手荷物として持つ。
・航空機内の使用は、航空会社の指示に従う。

● 液晶部分が破損するおそれがあるため、バッテリーパックを取り外しているときは、ディスプレイを閉じた上から必要以上の力を加えない。また、この状態でかばんなどに入れて持ち運ぶときも、満員電車などで力がかからないように気を付ける。

お勧めします

● ACアダプターと、予備のバッテリーパック（別売り）を用意する。

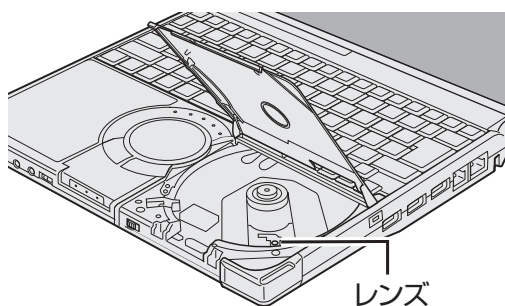
● 予備のバッテリーパック（別売り）は、コネクター保護のためビニール袋などに入れる。

● SDメモリーカード、USBメモリー、外付けハードディスク（いずれも別売り）などにデータのバックアップを取る。

お手入れ

● ディスプレイやホイールパッドのお手入れは、ガーゼなどの乾いた柔らかい布で軽くふいてください。

● ディスプレイ以外の部分やホイールパッドに汚れが付着した場合は、水または水で薄めた台所用洗剤（中性）に浸した柔らかい布をかたく絞ってやさしく汚れをふき取ってください。中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。

● CD/DVD ドライブのレンズのクリーニングには、カメラ用のレンズブロアーを使用してください。スプレー式の強力なものは使わないでください。

重 要

● **ベンジンやシンナー、消毒用アルコールなどは使わないでください。塗装がはげるなど、塗装面に影響を与える場合があります。また、市販のクリーナーや化粧品の中にも、塗装面に影響を与える成分が含まれている場合があります。**

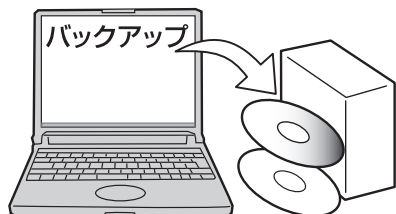
● **水や洗剤を直接かけたり、スプレーで噴きかけたりしないでください。液が内部に入ると、誤動作や故障の原因になります。**

気温が高い場所でお使いになる場合

- 気温が高い場所で連続してお使いの場合、パソコン内部の発熱を下げるモードに入るため、一時的に動作が遅くなることがあります。
- 気温が高い場所で連続してDVDへの書き込みを行った場合、書き込み時間が長くなることがありますので、DVDへの書き込みの間隔をあけてお使いください。

電子メールなどのバックアップと復元

ハードディスクに保存している電子メールやアドレス帳、お気に入りなどの必要なデータは、定期的にバックアップを取ることをお勧めします。

詳しくは『操作マニュアル』「（インターネット）」または「（電子メール）」をご覧ください。

故障や不本意なデータ更新/消失などのトラブル発生時の被害を最小限に抑えるためには、定期的なデータのバックアップが有効です。

バッテリー状態表示ランプが点灯しないとき

ACアダプターとバッテリーパックを正しく接続していてもバッテリー状態表示ランプが点灯しないときは、ACアダプターの保護機能が働いている場合があります。
ACコードを抜き、1分以上待ってから再度接続してください。
それでもランプが点灯しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。

周辺機器の使用について

パソコン本体、周辺機器、ケーブルなどの故障を防ぐため、次の点に注意してください。

- 仕様に適合した周辺機器を使用する。
- コネクターの形状、向きに注意して、正しく接続する。
- 接続しにくい場合は無理に挿し込まず、もう一度コネクターの形状、向きなどを確認する。
- 固定用のネジがある場合は、ネジを締める。
- ケーブルを取り付けたまま持ち運んだり、ケーブルを強く引っ張ったりしない。

また、本書および『操作マニュアル』と合わせて、使用する周辺機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

プロダクトリカバリー DVD-ROMは大切に保管してください

万一紛失されますと、再インストールなどが行えません。
この場合は、弊社サービス会社にて再インストールサービス（有償）をご利用いただけますので、ご相談窓口にお問い合わせください。

無線LANご使用時のセキュリティについて

工場出荷時、無線LANのセキュリティに関する設定は行われていません。

無線LANをご使用になる前に、必ず無線LANのセキュリティに関する設定を行ってください。

➡ 『操作マニュアル』「（無線LAN）」

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに電波を利用してパソコンと無線LANアクセスポイント（別売り）との間で情報のやりとりを行います。このため、電波の届く範囲であればネットワーク接続が可能であるという利点があります。
その反面、ある範囲であれば障害物（壁など）を越えて電波が届くため、セキュリティに関する設定を行っていないと、次のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、次のような通信内容を盗み見る可能性があります。
- IDやパスワード
- クレジットカード番号などの個人情報
- メール内容

● 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のパソコンやネットワークへアクセスし、次のようなことを行う可能性があります。
- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウイルスなどを流し、データやシステムを破壊する（破壊）

本機の無線LAN機能や無線LANアクセスポイントには、これらの問題に対応するためのセキュリティに関する設定が用意されています。本機では、使用する無線LANアクセスポイントにあわせて設定をする必要があるため、お買い上げ時にはセキュリティに関する設定は行われていません。無線LANをご使用になる前に、必ず無線LANのセキュリティに関する設定を行ってください。

無線LANのセキュリティに関する設定を行って使用することで、問題が発生する可能性は少なくなりますが、無線LANの仕様上、特殊な方法で通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする場合があります。ご理解のうえ、ご使用ください。

セキュリティに関する設定を行わないで使用した場合の問題を十分に理解したうえで、お客さま自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行うことをお勧めします。お客さまご自身で対処できない場合は、お客様ご相談センターにご相談ください。

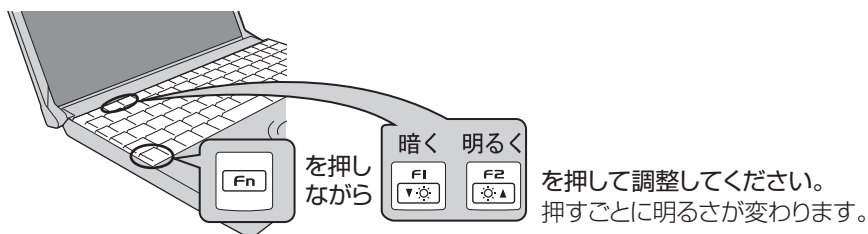
CPRMで録画されたメディアの再生について

CPRMとは、「1回または10回※1 録画可能」として録画制限のかかっているデジタル放送をDVDレコーダーでDVD-RAM、DVD-RおよびDVD-RWに録画する際に用いられる著作権管理技術のことです。

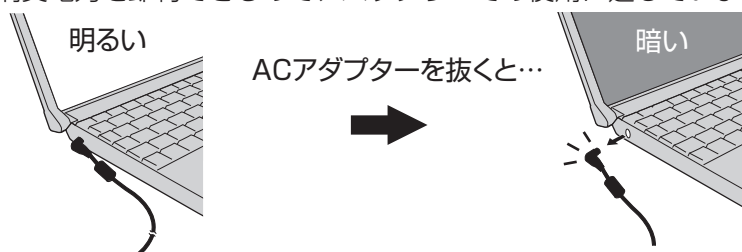
本機で再生するには、WinDVDにCPRM拡張機能（CPRM Pack）プログラムを組み込む必要があります（インターネットへ接続できる環境が必要です）。

➡ 『操作マニュアル』「（CD/DVDドライブ）」の「DVD-Videoを見る（WinDVD）」

※1 ダビング10の場合

画面の明るさを調整する

明るくすると、バッテリーの駆動時間は短くなります。

ACアダプターを抜くと暗くなる

工場出荷時、ACアダプターを接続していない状態では画面を暗くするように設定されています。
画面を暗くすると消費電力を節約できるので、バッテリーでの使用に適しています。

メモ

ACアダプターを接続しているときと接続していないときの明るさを別々に覚えています。工場出荷時の設定では、ACアダプターを抜くと画面が暗くなるように設定されています。ACアダプターを接続していない状態で[Fn]+[F2]を押して明るくすると、その明るさが保持され、次にACアダプターを抜いたときも調整した明るさになります。（明るくしていると、バッテリーでの駆動時間が短くなります。）

表記について

Enter	キーボードのEnterキーを押すこと。
Fn + F5	キーボードのFnを押しながら、F5を押すこと。 Fnと Ctrl（左側）の機能を入れ換えてお使いの場合（➡ 41ページ）は、Fnと Ctrlを置き換えてご覧ください。
[スタート] -[検索]	画面上の[スタート]をクリックした後、[検索]をクリックすること。
➡	参照先
📖	画面で見るマニュアルのこと。

- 本書では、コンピューターの管理者の権限でログオンした場合の手順や画面表示で説明しています。

  制限付きアカウントのユーザーやGuestアカウントで実行できない機能があったり、説明と異なる画面が表示されたりした場合は、コンピューターの管理者の権限でログオンして操作してください。
- 本書では、「Windows Vista® Business with Service Pack 1 正規版」を「Windows Vista」と表記し、「Microsoft® Windows® XP Professional 正規版 Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載」を「Windows」または「Windows XP Service Pack2」と表記します。
- 本書では、内蔵の「スーパーマルチドライブ」および「DVD-ROM ドライブ」を「CD/DVD ドライブ」と表記します。
- 本書では、次のアプリケーションソフトを省略して表記します。
  - 「WinDVD™ 8（OEM版）」を「WinDVD」
  - 「DVD-MovieAlbumSE 4.5」を「DVD-MovieAlbum」
- 本機は、Windows Vista Businessモデルをご購入されたお客さまの権利であるOSのダウングレード権の行使を、当社がお客さまに代わってWindows XP Professionalをインストールしてご提供するモデルです。OSライセンスは「Windows Vista® Business Service Pack 1（Windows® XP ダウングレード権含む）」です。

  Windows Vista用の各種説明書は、Webページ（➡『取扱説明書 準備と設定ガイド』の「1 付属品の確認」）からダウンロードしてください。
- 別売りの商品について

  本書で使用している商品品番は変更になることがあります。最新のカタログまたはご相談窓口で確認してください。
- 再インストールについて

  再インストールとは、ハードディスクをフォーマットして、Windowsをインストールし直すことです。

  再インストールを実行するとハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。

  <u>お客さまが作成したデータは、他のメディアや外付けのハードディスクへ必ずバックアップを取っておいてください。</u>再インストールの方法や確認事項については「再インストールする（パーティションを変更する）」（➡ 62ページ）をご覧ください。
- 無線LANを内蔵していないモデルをお使いの方へ

  無線LANを内蔵していないモデルをお使いの方は、本書および📖『操作マニュアル』などに記載されている無線LAN機能をお使いいただくことはできません。また、無線LAN機能に関連する項目なども表示されません。

  例:セットアップユーティリティの「詳細」メニューの[無線LAN]

画面で見るマニュアルの見方

次のマニュアルは本機に保存されていて、Windowsのセットアップ（➡『取扱説明書 準備と設定ガイド』）が終わった後、見ることができます。

『操作マニュアル』『困ったときのQ&A』を見る

1 [スタート]-[操作マニュアル]をクリックする。

- デスクトップの（バッテリー等の上手な使い方）をダブルクリックすると、『操作マニュアル』の「（バッテリー）」が表示されます。

『ハードディスクの取り扱いについて』を見る（PDF形式）

ハードディスクの取り扱いについて説明しています。

1 [スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[オンラインマニュアル]-[ハードディスクの取り扱いについて]をクリックする。

『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』を見る（PDF形式）

内蔵セキュリティチップ（TPM）のインストール方法などを説明しています。

1 [スタート]-[操作マニュアル]をクリックする。

2 [（セキュリティ）]をクリックし、[データを暗号化する]をクリックする。

3 説明をよく読み、[内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き]をクリックする。

『内蔵モデムコマンド一覧』を見る（PDF形式）

モデムの設定で使用するコマンドの一覧です。

1 [スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[オンラインマニュアル]-[内蔵モデムコマンド一覧]をクリックする。

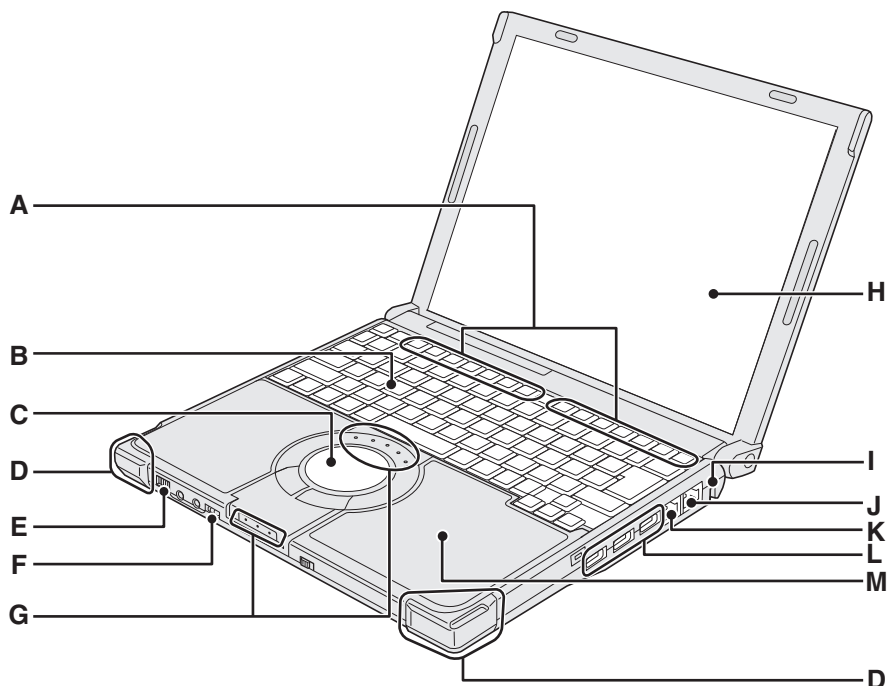
Windowsのヘルプを見る

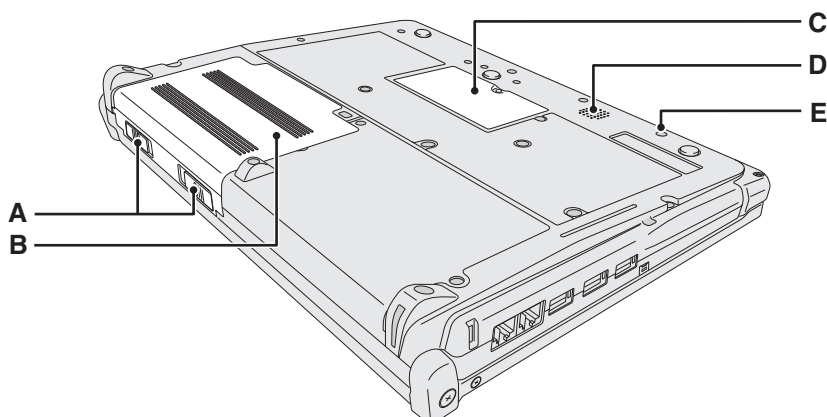
1 コンピューターの管理者の権限でログオンし、[スタート]-[ヘルプとサポート]をクリックする。

制限ユーザーでログオンすると、一部参照できないページがあります。

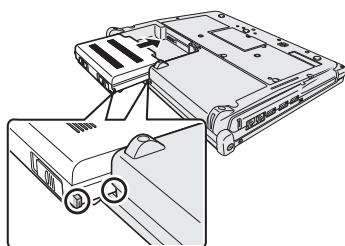
メモ

- Adobe Readerのアップデートを促すメッセージが表示された場合は、画面に従ってアップデートしてください。
  Adobe Readerの最新版については次のWebページをご覧ください。
  http://www.adobe.com/jp/

各部の名称と働き

	名　称	働き/参照先
A	ファンクションキー	Fnと組み合わせて押すと、各キーに割り当てられている機能が働きます。 ➡30ページ
B	キーボード	—
C	ホイールパッド	➡『取扱説明書 準備と設定ガイド』の「ホイールパッドの基本操作」 ➡28ページ
D	無線LAN用アンテナ（内蔵）	無線LAN通信用のアンテナが内蔵されています。 ➡『操作マニュアル』「（無線LAN）」
E	電源スイッチ/電源状態表示ランプ	約1秒間スライドさせると電源が入り、電源状態表示ランプが点灯します。 （電源状態表示ランプ ➡23ページ/電源スイッチ ➡26ページ）
F	無線切り替えスイッチ WIRELESS	無線LANの電源のオン（右側）/オフ（左側）を切り替えます。 ➡『操作マニュアル』「（無線LAN）」
G	状態表示ランプ SD A 1 ECO	➡23ページ
H	ディスプレイ（内部LCD）	明るさ調整:Fn+F1（下げる）/Fn+F2（上げる） ➡17ページ
I	セキュリティロック	ケンジントン社製のセキュリティ用ケーブルを接続することができます。 接続のしかたはケーブルに付属の説明書をご覧ください。 セキュリティロックおよびセキュリティケーブルは盗難を予防するもので、 万一発生した盗難事故による被害については責任を負いかねます。
J	モデムコネクター	モジュラーケーブルを接続します。コアを取り付けたコネクターをモデムコネクターに接続してください（➡13ページ）。 ➡『操作マニュアル』「（インターネット）」の「電話回線で接続する」

名 称		働き/参照先
K	LANコネクター	LANケーブルを接続します。ミニポートリプリケーターを接続している場合は、LANコネクターは使用できません。ミニポートリプリケーターのLANコネクターを使用してください。 ➡『操作マニュアル』「(インターネット)」の「有線LANで接続する」
L	USBポート	USBケーブルを接続します。 ➡『操作マニュアル』「(周辺機器)」の「USB機器を接続する」
M	CD/DVDドライブ	➡33ページ、『操作マニュアル』「(CD/DVDドライブ)」

A	ラッチ	バッテリーパックが正しく取り付けられると自動的にロックされます。取り外すときは、内側にスライドしてロックを解除します。
B	バッテリーパック	➡31ページ バッテリーパックの取り付け/取り外しの方法は、下記をご覧ください。
C	拡張メモリースロット	RAMモジュールを取り付けます。➡35ページ
D	スピーカー	• 音量調整 : Fn + F5 (下げる) / Fn + F6 (上げる) • スピーカーのオン/オフ : Fn + F4
E	エマージェンシーホール	ディスクカバーが開かないときや、電源を入れないでディスクを取り出したいときに使います。➡34ページ

●バッテリーパックの取り付け方法

バッテリーパックを矢印の方向にスライドして取り付ける。

バッテリーパックの左右の突起とパソコン本体のくぼみが合うように挿入してください。突起とくぼみが合わない場合は、いったん取り外し、バッテリーパックが浮かないように上から軽く押しながらスライドしてください。

●バッテリーパックの取り外し方法

左右のラッチをロック解除 の方向にスライドした状態で、本体と平行にバッテリーパックを押し出す。

各部の名称と働き

	名　称	働き / 参照先
A	電源端子 DC IN 16V	ACアダプターを接続します。
B	外部ディスプレイコネクター	外部ディスプレイのケーブルを接続します。ミニポートリプリケーターを接続している場合、コネクターは使用できません。ミニポートリプリケーターのコネクターを使用してください。 ➡『操作マニュアル』「(周辺機器)」の「外部ディスプレイを使う」
C	ミニポートリプリケーターコネクター EXT.	別売りのミニポートリプリケーター（品番：CF-VEBU05BU）を接続します。
D	通風孔	内部の熱を逃がします。
E	PCカードスロット	➡『操作マニュアル』「(周辺機器)」の「PCカードを使う」
F	SDメモリーカードスロット	SDメモリーカードまたはSDHCメモリーカード専用です。 ➡『操作マニュアル』「(周辺機器)」の「SD/SDHCメモリーカードを使う」
G	ドライブ電源/オープンスイッチ OFF/ON	• 右にスライドするとCD/DVDドライブのディスクカバーが開きます（パソコンの電源が入っているときのみ）。 • 左にスライドするごとにドライブの電源オン/オフが切り替わります（Windows起動中のみ）。
H	マイク入力端子	コンデンサー型マイクロホンを使用できます。それ以外を使用すると、音の入力ができなかったり、故障の原因になったりする場合があります。 • ステレオマイクを使ってステレオで録音する場合： [スタート]-[すべてのプログラム]-[SoundMAX]-[コントロールパネル]-[マイク]をクリックし、[マイクの詳細設定]の[フィルタリングなし]をクリックして[OK]をクリックしてください。 • 2極プラグのモノラルマイクをお使いになる場合： [スタート]-[すべてのプログラム]-[SoundMAX]-[コントロールパネル]-[マイク]をクリックし、[マイクの詳細設定]の[音声録音]をクリックして[OK]をクリックしてください。 [音声録音]に設定しないと、ステレオ録音したときに左側からしか音が出ません。 • ヘッドホンでマイク音をモニターする場合： 2極プラグタイプのモノラルマイクを使うと、左側からしか音が出ません。これは、本機の仕様で故障ではありません。
I	オーディオ出力端子	市販のオーディオ用ヘッドホン、アンプ付きスピーカーなどを接続します。接続すると、内蔵スピーカーからの音は出なくなります。

状態表示ランプ

名　称	状態/参照先
電源状態表示ランプ	• 消灯：電源オフまたは休止状態 • 点灯：電源オン • 点滅：スタンバイ状態 工場出荷時の状態では、内部LCDの明るさに合わせて電源状態表示ランプの明るさも変わります。セットアップユーティリティの「メイン」メニューの[LED輝度]で常に暗く設定することもできます。 スタンバイまたは休止状態から復帰するには、電源スイッチをスライドしてください。
エコノミーモード（ECO）ランプ　ECO	バッテリーのエコノミーモード（ECO）の有効/無効を表します。 • 消灯：無効 • 点灯：有効 • 点滅：有効（残量80%まで放電中）
バッテリー状態表示ランプ	• 消灯：バッテリーパック未装着または充電していない状態 • オレンジ色点灯/明滅：充電中 • 緑色点灯：充電完了 • 赤色点灯：残量約9%以下 • 赤色点滅、オレンジ色点滅：「バッテリーのQ&A」の「バッテリー状態表示ランプ が点滅しているときは？」（➡55ページ）をご覧ください。
CD/DVD ドライブ状態表示ランプ	• 消灯：ドライブの電源がオフまたはディスクカバーが開いている状態 • 点灯：ドライブの電源がオンで、アクセスしていない状態 • 点滅：ドライブの電源がオンで、アクセスしている状態またはディスクカバーが開く準備中 ドライブの電源のオン/オフを切り替えるには、『操作マニュアル』「（CD/DVD ドライブ）」の「ドライブの電源をオン/オフする」をご覧ください。
SDメモリーカード状態表示ランプ　SD	SDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードへのアクセス時に点灯します。
Caps Lockランプ（キャップスロック）	Shiftを押しながらCaps Lockを押すと点灯または消灯し、入力できるアルファベットの種類を表します。 • 点灯：大文字 • 消灯：小文字
NumLockランプ（ナムロック/テンキーモード）	NumLkを押すと点灯し、下図のようにキーボードの一部がテンキーとして機能します。ランプ点灯時にキーを押すと、キーボード上の数字または演算記号が入力できます。 解除するには、もう一度NumLkを押します（ランプ消灯）。 テンキーモード 7 8 9 - 4 5 6 ↵ 1 2 3 + * 0 . / ↵の機能は、アプリケーションソフトにより異なります。
ScrLkランプ（スクロールロック）	Fnを押しながらNumLk（ScrLk）を押すと点灯または消灯します。使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。
ハードディスク状態表示ランプ	ハードディスクへのアクセス時に点灯します。

画面の表示について

タスクトレイのアイコン

アイコン	名称と役割
	Intel(R) Graphics Media Accelerator Driver for Mobile（画面設定に使用）
	ネットセレクター（LANや無線LANなどの接続設定に使用） ➡『操作マニュアル』「（インターネット）」の「接続の設定を簡単に切り替える」
または	無線機能（無線LANの確認やIEEE802.11aの有効/無効の切り替えに使用） ➡『操作マニュアル』「（無線LAN）」
	ポインティングデバイス（ホイールパッドの各種設定に使用）
または	ホイールパッドユーティリティ（ホイールパッドユーティリティの状態確認や設定に使用） ➡『操作マニュアル』「（ホイールパッド）」
または	音量（音量の設定） ➡ Windowsのヘルプ
または	ワイヤレスネットワーク接続（無線LANの接続設定に使用） ➡『操作マニュアル』「（無線LAN）」
または	ローカルエリア接続（有線LANの接続設定に使用） ➡『操作マニュアル』「（インターネット）」の「有線LANで接続する」
ON OFF	オプティカルディスクドライブ省電力ユーティリティ（CD/DVDドライブの電源オン/オフの切り替え） ➡『操作マニュアル』「（CD/DVDドライブ）」の「ドライブの電源をオン/オフする」
	PC情報ポップアップ（バッテリーやハードディスクの使い方に関する情報を表示） お使いの機種によって機能が異なります。詳しくは、下記『操作マニュアル』をご覧ください。 ➡『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「パナソニックからの必要な情報を確認する」
ECO または	バッテリーのエコノミーモード（ECO）（現在のエコノミーモード（ECO）の確認やモードの切り替えに使用） ➡32ページ
	バッテリーメーター（ACアダプターを抜くと表示。「バッテリメーター」画面の表示や電源プロパティの調整に使用） ➡『操作マニュアル』「（バッテリー）」の「駆動時間について」
または	Windowsセキュリティセンター（セキュリティに関する設定状態の確認や設定に使用） ➡『操作マニュアル』「（セキュリティ）」の「Windowsを最新の状態にする」
	無線接続無効ユーティリティ（無線接続無効ユーティリティをインストールしている場合のみ表示。LANケーブル接続時の無線接続の停止を行う/行わないを設定） ➡『操作マニュアル』「（インターネット）」の「有線LANで接続する」

はじめに

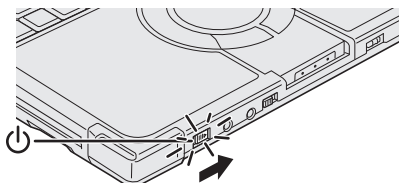
アイコン	名称と役割
または	Hotkey設定（Hotkey設定画面で[Fnキーの状態を画面に表示する]にチェックマークを付けている場合のみ表示。Fnキーのロック状態の確認に使用） ➡ 『操作マニュアル』「（キーボード）」の「Hotkey設定」
	ズームビューアー（ズームビューアーを起動している場合のみ表示。拡大表示ウィンドウの表示やズームビューアーの各種設定に使用） ➡ 『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「画面の表示を拡大する」
または	USBキーボードヘルパー（USBキーボードヘルパーをセットアップしている場合のみ表示。USBキーボードを接続すると、テンキーモードに切り替わります。） ➡ 『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「USB機器を接続する」
または	USBマウスヘルパー（USBマウスヘルパーをセットアップしている場合のみ表示。USBマウスを接続すると、ホイールパッドを無効にします。） ➡ 『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「外部マウスを使う」
	ディスプレイヘルパー（ディスプレイヘルパーをセットアップしている場合のみ表示。外部ディスプレイ接続時、拡張デスクトップモードでの画面操作に使用） ➡ 『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「拡張デスクトップモードを使う」

電源を入れる/切る

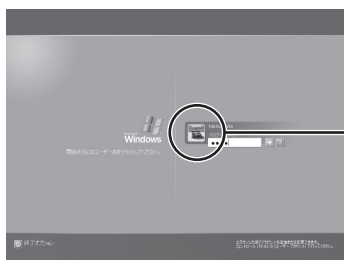
電源を入れる

初めて電源を入れるときの操作は『取扱説明書 準備と設定ガイド』をご覧ください。

1 電源スイッチ⏻を約1秒間スライドする。

- 電源状態表示ランプ⏻が点灯したら手を離します。
- 電源スイッチを4秒以上スライドさせたり、連続してスライドさせたりしないでください。

- 起動中（ポインターが砂時計から通常のものに戻り、ハードディスク状態表示ランプが消えるまで）は、次のことをしないでください。
  - ACアダプターを抜き挿しする。
  - 電源スイッチを操作する。
  - キーボード、ホイールパッド（外部マウス）に触れる。
  - ディスプレイを閉じる。
  - ドライブ電源/オープンスイッチを操作する。

2 Windowsにログオンする。

複数のユーザーアカウントを作成している場合は、ハードディスク状態表示ランプが消えてから、ユーザーアカウントのアイコンをクリックします。

- パスワードを設定している場合は、パスワードを入力して➡をクリックしてください。正しいパスワードを入力するまで操作できません。

文字入力の設定がキャップスロックやナムロック（➡23ページ）になっていないことを確認してください。

電源を入れた後、すぐに下の画面が表示されたら…

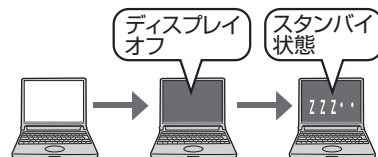
本機のセキュリティのため、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードが設定されています。パスワードを入力しEnterを押してください。正しく入力すると起動します。

3回間違えるかパスワードを入力せずに約1分経過すると、電源が切れます。

画面の表示が消えたら…

お買い上げ時は省電力設定がされているため、操作やデバイスへのアクセスがない状態が一定時間続くと、省電力機能が働き画面の表示が消えます。

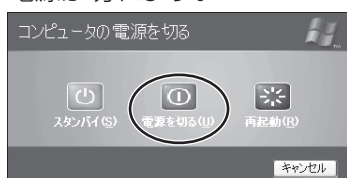
ホイールパッド、キーボードを操作すると元の状態に戻ります。
動作に影響のないキー（CtrlやShiftなど）を押してください。
また、本機を操作しないと、スタンバイ状態に入ります。電源スイッチをスライドすると元の状態に戻ります。

使ってみる

電源を切る

ホイールパッドを使って電源を切る

1 **必要なデータを保存して、各種アプリケーションソフトを終了する。**

2 **[スタート]-[終了オプション]をクリックする。**

3 **[電源を切る]をクリックする。**
電源が切れます。

起動し直したい場合(再起動)は[再起動]をクリックします。

4 **ディスプレイを閉じる。**

キーボードを使って電源を切る

1 **必要なデータを保存して、各種アプリケーションソフトを終了する。**

2 **⊞、Uの順に押し、←→↓↑で[電源を切る]を選ぶ。**

3 **Enterを押す。**

4 **ディスプレイを閉じる。**

重要

- **電源が切れるまでは、次のことをしないでください。**
  - ACアダプターを抜き挿しする。
  - 電源スイッチを操作する。
  - キーボード、ホイールパッド(外部マウス)に触れる。
  - ディスプレイを閉じる。
  - ドライブ電源/オープンスイッチを操作する。
- **電源を切った後、再び電源を入れるまで10秒以上あけてください。**
- **長時間ご使用にならないときは**
  - 節電のため、パソコン本体の電源を切り、ACアダプターを電源コンセントから抜いてください(電源コンセントに接続したままにしておくと、ACアダプター単体で最大0.3Wの電力を消費しています)。
  - パソコン本体の電源が切れている状態でもパソコン本体は電力を消費します。長時間ご使用にならなかった場合は、次回お使いになる前にバッテリーを充電するか、ACアダプターを接続してください。
    バッテリー残量保持期間は下記の表のとおりです。

席を外すなど、操作を中断する

「スタンバイ」または「休止状態」の機能を使うと、次回電源を入れたとき、操作していたアプリケーションソフトやファイルが表示され、すぐに操作を再開することができます。

- Fn+F7を押すと、スタンバイ状態になります。
- Fn+F10を押すと、休止状態になります。
- 電源スイッチをスライドすると元の状態に戻ります。

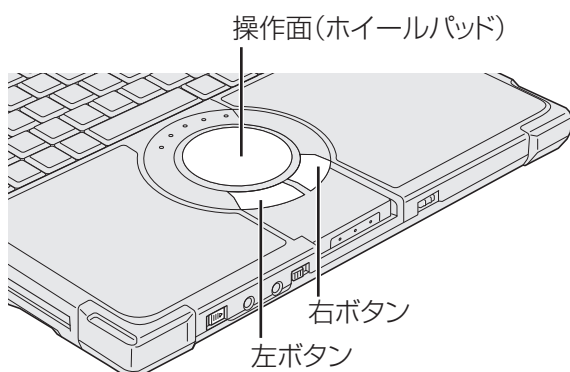
●バッテリー残量保持期間

バッテリーパックの種類	付属のバッテリーパック使用時	軽量バッテリーパック(CF-VZSU52AJS)使用時
スタンバイ状態	約3日 (LAN Wake Up機能有効時:約2日)	約1.5日 (LAN Wake Up機能有効時:約1日)
	スタンバイ状態でバッテリー残量がなくなると保持されていたデータは失われます。	
休止状態	約1.5か月 (LAN Wake Up機能有効時:約3日)	約0.7か月 (LAN Wake Up機能有効時:約1.5日)
電源オフ	約1.5か月 (Power On by LAN機能有効時:約3日)	約0.7か月 (Power On by LAN機能有効時:約1.5日)

LAN Wake Up機能有効時でも、LANケーブルを接続していない場合は少し長くなります。
LAN Wake Up機能およびPower On by LAN機能については、『操作マニュアル』「(インターネット)」の「有線LANで接続する」をご覧ください。

使ってみる

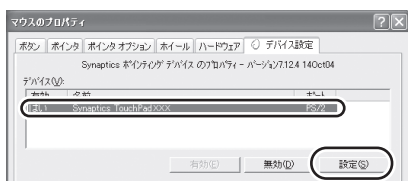
ホイールパッドを使う

マウスと同じようにポインターを動かしたり、機能を選択したりするときに使います。
使い方については、『取扱説明書 準備と設定ガイド』の「ホイールパッドの基本操作」をご覧ください。
お使いのネットワーク環境によっては、ホイールパッドユーティリティの起動に1分以上かかる場合があります。

ホイールパッドの感度を調節する

「PalmCheck™(パームチェック)」と「タッチ感度」の2つの感度を調節することで、ホイールパッドを使いやすく設定することができます。

1 [スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[マウス]をクリックする。

2 [デバイス設定]をクリックする。

3 [デバイス]内のデバイス名(例：Synaptics TouchPad)をクリックして、[設定]をクリックする。

4 [感度]をダブルクリックして、[PalmCheck(パームチェック)]または[タッチ感度]をクリックする。

●PalmCheck(パームチェック)

キーボード操作時、ホイールパッドを操作するつもりがないのに手のひらがホイールパッドに触れてポインターが動いてしまう場合に調節します。

- スライドバーを[最大]側へドラッグすると、意図していないときにポインターが動いてしまうことを防ぐことができます。
- スライドバーを[最小]側へドラッグすると、手のひらがホイールパッドに軽く触れても、ポインターが動くようになります。

●タッチ感度

指がホイールパッドに軽く触れただけでポインターが動いてしまう場合、またはホイールパッド上で指を動かしてもポインターがなかなか動かない場合に調節します。

- スライドバーを[重く]側へドラッグすると、ホイールパッドに強く触れないとポインターが動かなくなります。
- スライドバーを[軽く]側へドラッグすると、ホイールパッドに軽く触れただけでポインターが動くようになります。

5 調節した後、[OK]をクリックする。

6 「マウスのプロパティ」画面で、[OK]をクリックする。

ホイールパッドの有効/無効を切り替える

本機にはUSBマウスの抜き挿しに連動してホイールパッドの有効/無効を切り替えるUSBマウスヘルパーというユーティリティが用意されています。

1. **[スタート]-[ファイル名を指定して実行]をクリックする。**
2. **半角英字で次のように入力し、[OK]をクリックする。**
   c:¥util¥umouhelp¥setup.exe
3. **セットアップの画面で[はい]をクリックする。**
   「USBマウスヘルパーをご使用になる前に」が表示されますので、内容をよく読んで、×をクリックしてください。
4. **[次へ]をクリックする。**
5. **[インストール]をクリックする。**
6. **[はい、今すぐコンピュータを再起動します]をクリックし、[完了]をクリックする。**

   パソコンが再起動します。

詳しくは、『操作マニュアル』「(周辺機器)」の「外部マウスを使う」もご覧ください。

ホイールパッドの取り扱い

ホイールパッドは、指で操作するように設計されています。

- 操作面に物を置いたり、つめなど先のとがったもの、硬いもの、鉛筆やボールペンのような跡の残るもので強く押さえたりしないでください。
- 油などでホイールパッドを汚さないでください。ポインターが正常に動かなくなります。
- ホイールパッドに汚れが付着した場合、ガーゼなどの乾いた柔らかい布か水で薄めた台所用洗剤(中性)を浸してかたく絞った柔らかい布で汚れを取り除いてください。
- ベンジンやシンナー、消毒用アルコール、中性の台所用洗剤以外の洗剤(弱アルカリ性洗剤など)を使用すると、塗装がはげるなど塗装面に影響を与えることがあります。使用しないでください。

メモ

ダブルクリックの速さやボタンを押したときの動作は、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[マウス]をクリックし、「マウスのプロパティ」画面で変更できます。

Fnキーを使う

Fnを押しながら、文字や記号が枠で囲まれているキーを押すと、次の表のような機能が働きます。

● 各機能の詳細：
➡『操作マニュアル』「（キーボード）」の「Fnキーを使う」

● FnとCtrl（左側）の機能を入れ換えてお使いの場合（➡41ページ）：
Fnの代わりにCtrl（左側）を押してください。

キー	機能	画面表示
Fn ＋ F1 Fn ＋ F2	内部LCDの明るさを調整します。 Fn+F1（下げる）/Fn+F2（上げる）	
Fn ＋ F3	外部ディスプレイ接続時、表示先を内部LCD/同時表示/外部ディスプレイに切り替えます。画面表示が完全に切り替わるまで、他のキーは押さないでください。	−
Fn ＋ F4	スピーカーとオーディオ出力端子からの音声出力のオン/オフを切り替えます。 音声出力をオフにすると、ビープ音も鳴らなくなります。	オン オフ（ミュート）
Fn ＋ F5 Fn ＋ F6	スピーカーとオーディオ出力端子からの音量を調整します。 Fn+F5（下げる）/Fn+F6（上げる）	
Fn ＋ F7	現在のパソコンの状態がメモリーに保存されてスタンバイ状態に入ります。	−
Fn ＋ F9	バッテリーの残量を表示します。	100 バッテリーパック装着時（%表示は一例） -- バッテリーパック未装着時 ECO バッテリーのエコノミーモード（ECO）が有効の場合は、「ECO」と表示
Fn ＋ F10	現在のパソコンの状態をハードディスクに保存して休止状態に入ります。	−
Fn ＋ F11	使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。（SysRq）	−
Fn ＋ F12	画面全体をクリップボードにコピーします。（PrtSc） Fn＋Alt＋F12を押すと、選択されているウィンドウのみコピーできます。	−
Fn ＋ NumLk Fn ＋ Ins Fn ＋ Del	使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。 Fn＋NumLk：ScrLk　Fn＋Ins：Pause Fn＋Del：Break	−
Fn ＋ ⇤	最初のページに移動またはポインターを行の先頭に移動（Home）	−
Fn ＋ ⇥	最後のページに移動またはポインターを行の最後に移動（End）	−
Fn ＋ ↑	前のページに移動（PgUp）	−
Fn ＋ ↓	次のページに移動（PgDn）	−

バッテリーについて

駆動時間について

バッテリーの駆動時間は、使い方や使用環境によって大きく変わります。

本機では、他のメーカーとの比較のために共通の測定法として社団法人電子情報技術産業協会の「JEITAバッテリ動作時間測定法（Ver.1.0）」（以降、JEITA測定法と表記）を採用しています。

重 要

JEITA測定法は、画面を暗くするなど消費電力を抑えた状態で測定しているため、画面を明るくして使っていたり、アプリケーションソフトをたくさん起動していたりすると、JEITA測定法の駆動時間より短くなります。

バッテリー駆動時間の測定方法

JEITA測定法に基づいて測定された数値は、次の２つの方法でバッテリーが動作する時間を測定し、その平均を取った値です。

- **負荷をかけた状態での測定方法（測定法a）**
  内部LCDの輝度（明るさ）を20cd/m^2（最も暗い状態から[Fn]+[F2]を４回押した状態）に設定し、指定の動画ファイル（MPEG1形式）をハードディスクから読み出しながら再生し続ける。
- **負荷をかけない状態での測定方法（測定法b）**
  内部LCDの輝度を最も暗い状態（[Fn]+[F1]を繰り返し押し、それ以上暗くならない状態）に設定し、デスクトップ画面を表示したまま放置する。

詳細な測定方法については、JEITAのWebページ（http://it.jeita.or.jp/mobile/）をご覧ください。

駆動時間を長くするには

次のようなことを行うことで、バッテリーの駆動時間を長くすることができます。

『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「消費電力を節約する」もご覧ください。

- 省電力設定ユーティリティで各省電力機能を設定する。
  画面表示の省電力、サウンドドライバーの省電力など、複数の省電力機能を設定することができます。消費電力を抑え、駆動時間を延ばします。
- [Fn]+[F1]で内部LCDの明るさを暗くする。
  内部LCDの明るさを下げることで、消費電力を抑えます。
- オプティカルディスクドライブ省電力ユーティリティでCD/DVDドライブの電源を切る。
  内蔵CD/DVDドライブを使用しない場合、オプティカルディスクドライブ省電力ユーティリティで自動的にCD/DVDドライブの電源を切ることができます。
- スタンバイ状態/休止状態を活用する。
  パソコンからしばらくの間離れるときは、[Fn]+[F7]でスタンバイ状態、または[Fn]+[F10]で休止状態にしてください。消費電力が抑えられます。
- [電源設定]を変更する。
  [スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]をクリックして、[電源設定]を[バッテリの最大利用]に設定します。
- 通信しないときは無線切り替えスイッチで無線の電源を切る。
- 使わない周辺機器（USB機器、PCカード、外部マウスなど）は取り外す。
- CPUに大きな負荷がかかるアプリケーションソフトを使用しない。
- 3Dグラフィックスを利用したスクリーンセーバーを使っている場合は、他のスクリーンセーバー（例：[Windows XP]）に変更する。
- バッテリーのエコノミーモード(ECO)を無効にする。
- 新しいバッテリーパックを満充電にして使う。

バッテリーについて

バッテリーパックの劣化を抑える

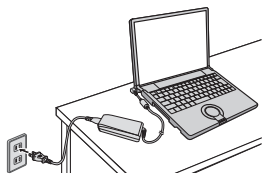
バッテリーパックは消耗品です。バッテリーパックの耐久年数は、使い方や使用環境によって大きく変わります。バッテリーパックの劣化を抑え、耐久年数を少しでも長くするためには、次の点を守ってください。

- ●バッテリーのエコノミーモード(ECO)を有効にする。
- ●周囲の温度が10℃～30℃の場所で充電する。
- ●バッテリーの充電は1日1回以内。
- ●本機の電源を切った状態で充電する。

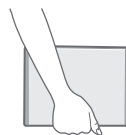
バッテリーのエコノミーモード（ECO）

バッテリーのエコノミーモード(ECO)を有効にすると、バッテリーの充電を満充電の80%までで停止します。100%（満充電）にしないことでバッテリーパックへの負担を軽減して劣化を防ぎ、バッテリーパックの耐久年数を長くします。工場出荷時は、バッテリーのエコノミーモード(ECO)は無効に設定されています。
使い方に合わせてバッテリーのエコノミーモード（ECO）を切り替え、バッテリーを上手にお使いください。

ACアダプターを接続して使うことが多いとき

●バッテリーのエコノミーモード（ECO）有効

- **満充電の80%までで充電を停止するため、バッテリーパックの劣化が抑えられます。**
- **長時間のバッテリー駆動が必要でない場合にお勧めします。**

持ち運ぶことが多いとき

●バッテリーのエコノミーモード（ECO）無効

- **100%まで充電できます。**
- **バッテリーの駆動時間を優先するときにお勧めします。**

バッテリーのエコノミーモード（ECO）の切り替え

画面右下のタスクトレイのまたはを右クリックし、[エコノミーモード（ECO）有効]または[エコノミーモード（ECO）無効]をクリックしてください。

またはが表示されていない場合は、[スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[バッテリー]-[エコノミーモード(ECO)切り替えユーティリティ]をクリックしてください。
詳しくは『操作マニュアル』「（バッテリー）」をご覧ください。

使ってみる

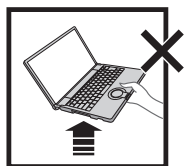
CD/DVD ドライブ

CD/DVD ドライブの取り扱い、本機で使えるディスクの種類、DVDを見る方法などについては、『操作マニュアル』「(CD/DVD ドライブ)」をご覧ください。

ドライブをお使いになる場所

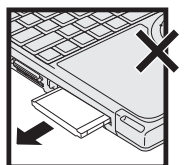
油煙やたばこの煙の多いところでは使用しないでください。

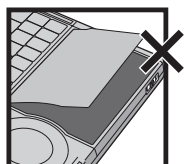
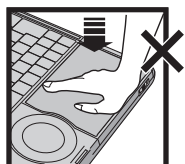
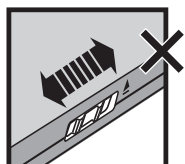
レンズの寿命が短くなることがあります。

ドライブアクセス中の操作について

ディスクカバーを開けたり、パソコンを持ち上げたり、持ち運んだりしないでください。

ディスクの損傷、読み出しや書き込みの失敗、故障の原因になります。

パソコンに衝撃を与えないでください。

データの読み出しや書き込みに失敗することがあります。

ケーブルやカードなどを抜き挿ししないでください。

データの読み出しや書き込みに失敗することがあります。

ディスクにアクセスするアプリケーションソフトを起動した後は、そのアプリケーションソフトを終了するまでディスクカバーを開けないでください。

ディスクカバーを強く押さないでください。

ドライブ電源/オープンスイッチを操作しないでください。

書き込みや書き換え作業が長時間に及ぶ場合は、ACアダプターを接続しておいてください。作業中にバッテリー切れが起こると書き込みに失敗する場合があります。

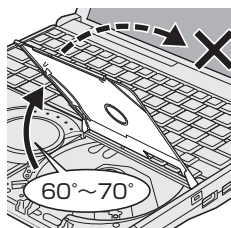
ドライブの作動音

次のような場合、CD/DVD ドライブからモーター音がします。

- CD/DVD ドライブの電源を入れた直後（ジーやキューンという音）
- セットアップユーティリティで[光学ドライブ電源]を[オン]に設定している状態で、本体の電源を入れた直後（ジーやキューンという音）
- CD/DVD 再生中（一定間隔で鳴るゴロゴロという小さな音）

これらは、CD/DVD ドライブのモーターが作動している音で、故障ではありません。

ディスクカバーを開いているとき

- ディスプレイを閉じない。
  必ずディスクカバーが閉じていることを確認してからディスプレイを閉じてください。液晶部分が傷つくことがあります。
- ドライブのすき間部分にクリップなどの異物を入れない。故障の原因になります。
- ディスクカバーを無理に開けない（60°～70°に開きます）。手などが触れてそれ以上開いてしまった場合は、ストッパーが元に戻るまで、ゆっくりと手前に戻してください。

- ディスクカバーを開けたままで放置したり、レンズの部分に手を触れたりしない。
  ゴミやほこりがレンズに付着し、データを読み取れなくなる場合があります。

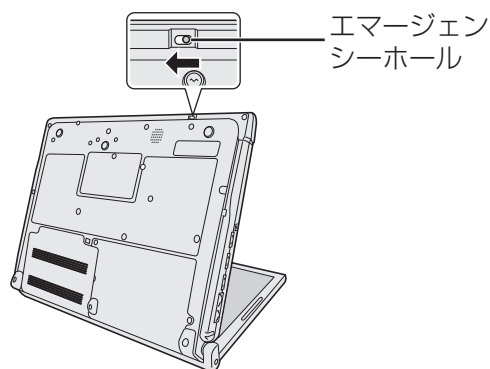
CD/DVD ドライブの電源をオフにしたとき

ドライブ電源/オープンスイッチを左にスライドしてCD/DVD ドライブの電源をオフにしたとき、「'MATSHITA DVD-XXX XXXXXX' はコンピュータから安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されることがありますが、CD/DVD ドライブは内蔵のため取り外すことはできません。

CD/DVD ドライブ

ディスクのセット/取り出し

- ディスクは確実にセットしてください。
  確実にセットしないでディスクカバーを閉じると、ディスクが傷つくことがあります。
- Windowsが起動している場合は、本体前面右側のドライブ電源/オープンスイッチを使ってディスクカバーを開けてください。

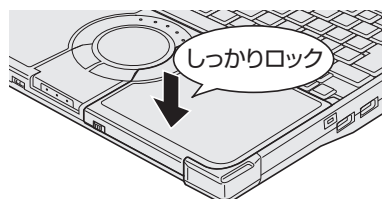
  ただし、DVD-MovieAlbumをお使いの場合は、ドライブ電源/オープンスイッチではカバーが開きません。停止または一時停止中にDVD-MovieAlbum画面上の⏏をクリックしてください。
- ドライブ電源/オープンスイッチやアプリケーションソフトの操作を行ってもディスクカバーが開かないときや、パソコンの電源を入れないでディスクを取り出したいときは、クリップを引き伸ばしたものやボールペンの先などを底面のエマージェンシーホールに挿し込み、矢印の方向に動かしてください。

重 要

- **ディスクをセットした後、メディアが認識されるまでは、エクスプローラーなどでCD/DVDドライブのアイコンをクリックしないでください。**
- **セットしたディスクによっては、ファイルへのアクセス中に自動実行が開始されることがあります。**

  また、ディスクから動画を再生したとき、滑らかに再生できないことがあります。あらかじめご了承ください。
- **お買い上げ後および再インストール後に初めてCD/DVDドライブの電源を入れると、CD/DVDドライブを新しいデバイスとして認識します。認識の処理が完了するまでの間（約30秒）は、ドライブ電源/オープンスイッチでドライブの電源をオフにしないでください。**

ディスクカバーを閉じるとき

ディスクカバーの中央付近（矢印の位置）を押してロックされたことを確認してください。ディスクカバーを閉じた後、メディアが認識されるまでは、ドライブにアクセスしないでください。

使ってみる

メモリー容量を増やす

本機には拡張メモリースロットが1つ用意されています。別売りのRAMモジュールを増設し、搭載されているメモリー容量を増やすことにより、Windowsやアプリケーションソフトの処理速度を上げることができます（お使いの使用条件により効果は異なります）。

重 要

次のことにご注意ください。

- RAMモジュールはCF-BAK1024UまたはCF-BAB2048Uなどの推奨品をお使いください。
  推奨品については、弊社の最新のカタログやWebページでご確認いただけます。推奨以外のRAMモジュールを取り付けると、正常に動作しなかったり、故障の原因になったりする場合があります。
  また、場合によっては発熱によりカバーが変形する場合があります。
- 使用可能なRAMモジュールの仕様については、「仕様」（➡71ページ）をご覧ください。
- 推奨以外のRAMモジュールを使用した場合や誤った方法で取り付けまたは取り外した場合の故障や損害について、弊社では責任を負うことはできません。
  RAMモジュールの種類や取り付け方法をご確認のうえ、正しい方法で装着してください。
- RAMモジュールは、静電気に対して非常に弱い部品で、人間の体内にたまった静電気により破壊される場合があります。
  取り付け/取り外しのときは、本体内部の部品や端子などに触れないでください。
- RAMモジュールの取り付け/取り外しは、本体の電源を切り、ACアダプターやバッテリーパックを取り外してから行ってください。
- ネジ山をつぶさないよう、ネジの大きさに合ったドライバーをお使いください。

RAMモジュールの取り付け

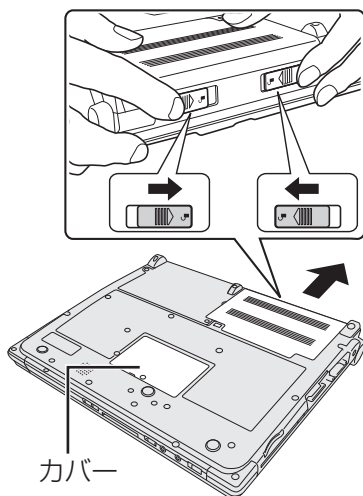
1 **RAMモジュール（別売り）を用意する。**

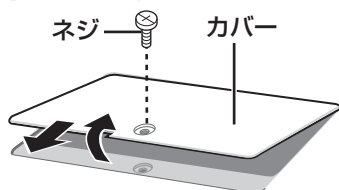
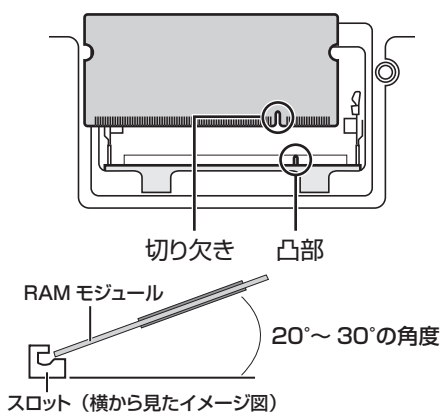
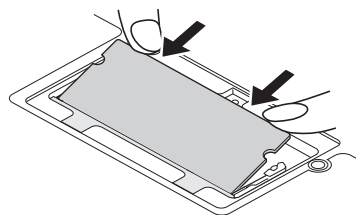
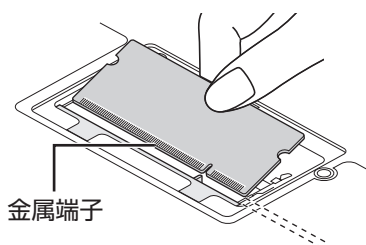
2 **パソコンの電源を切り、ACアダプターを取り外す。**

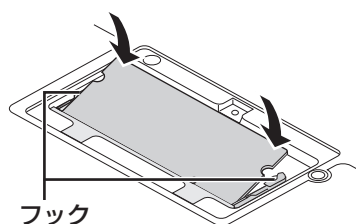
スタンバイ/休止状態のときに、取り付け/取り外しを行わないでください。

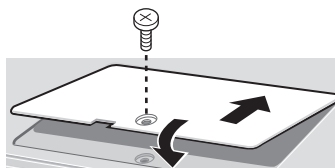
3 **本体を裏返す。**

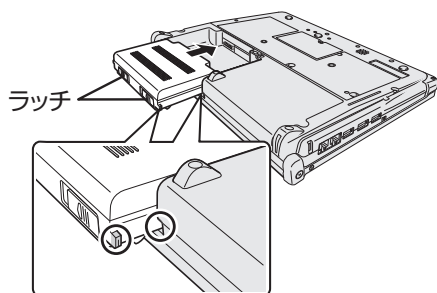
4 **左右のラッチをロック解除 🔓 の方向にスライドした状態で、本体と平行にバッテリーパックを押し出す。**

ラッチがロックされた状態で、無理にバッテリーパックを取り外さないでください。バッテリーパックが破損するおそれがあります。

5 ネジを取り外し、カバーを外す。

拡張メモリースロットのカバーの位置は、手順4をご覧ください。

6 スロットの凸部とRAMモジュールの切り欠き部の向きを合わせて持ち、スロットと平行にRAMモジュールを軽く合わせる。

7 金属の端子が見えなくなるまで、スロットと平行にしっかりと挿し込む。

- 挿し込みにくい場合は、無理に力を加えず、再度モジュールの向きを確認してください。
- しっかりと挿し込まずに次の手順を行うと、スロットが破損する場合があります。

8 左右のフックでロックされるまで倒す。

倒しにくい場合は、無理に力を加えず、再度モジュールの向きや挿し込み具合を確認してください。

9 カバーを取り付け、ネジで固定する。

10 バッテリーパックの左右にある突起とパソコン本体のくぼみが合うように、矢印の方向に平行にスライドして取り付ける。

バッテリーパックの向きに注意してください。

突起とくぼみが合わない場合は、いったん取り外し、バッテリーパックが浮かないように上から軽く押しながらスライドしてください。

11 バッテリーパックがしっかりと固定されていることを確認する。

左右のラッチは、バッテリーパックが正しく取り付けられると自動的にロックされます。左右のラッチが正しくロックされていることを確認してください。ロックされていない状態で本機を持ち運ぶと、バッテリーパックが外れることがあります。

12 ACアダプターを取り付ける。

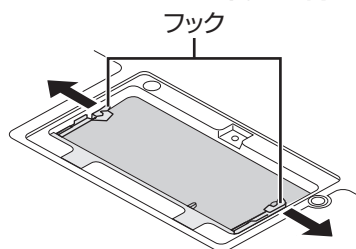
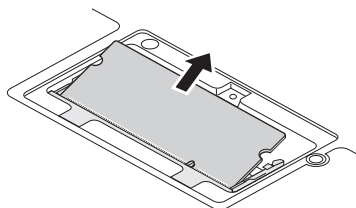
メモ

- RAMモジュールの挿し方を間違えたり、推奨以外のRAMモジュールを取り付けたりすると、パソコンの電源を入れたときに「増設RAMモジュールエラーです」というエラーメッセージが表示される場合があります。その場合は、パソコンの電源を切り、RAMモジュールが推奨品であることを確認して、正しく取り付け直してください。
- 増設した後の使用可能メモリーのサイズは、セットアップユーティリティの「情報」メニュー（➡41ページ）の[使用可能メモリー]で確認できます。工場出荷時のメモリーサイズは「仕様」（➡71ページ）のメインメモリーをご覧ください。

RAMモジュールの取り外し

「RAMモジュールの取り付け」の手順2～5の後、次の手順で取り外してください。

1 左右のフックを外側にゆっくりと広げる。

RAMモジュールが斜めに持ち上がります。

2 ゆっくりとスロットから取り外す。

3 カバーとバッテリーパック、ACアダプターを取り付ける。（➡36ページ「RAMモジュールの取り付け」の手順9～12）

使ってみる

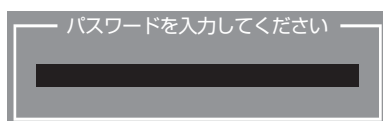
セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティは、本機の動作環境（パスワードや起動ドライブなど）を設定するためのユーティリティです。以下の6メニューがあります。
「情報」、「メイン」、「詳細」、「起動」、「セキュリティ」、「終了」

セットアップユーティリティを起動する/終了する

起動する

1. 本機の電源を入れる。または、Windowsを終了して再起動する。
2. 本機の起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 または Del を押す。

3. パスワードを設定している場合は、下の画面が表示されるので、ユーザーパスワードまたはスーパーバイザーパスワードを入力し、Enter を押す。

メモ

- F2 または Del を押すタイミングが遅いとセットアップユーティリティは起動しません。Windowsを終了して再起動してください。
- セットアップユーティリティの画面を内部LCDと外部ディスプレイの両方に表示することはできません。
  Fn + F3 を押して表示先を切り替えると、外部ディスプレイまたは内部LCDのどちらかに表示されます。
- パスワードを設定していても[起動時のパスワード]が[無効]になっている場合、パソコン起動時にパスワードの入力は不要です。
  セットアップユーティリティを起動したときは、パスワードの入力が必要です。

終了する

1. ← → または Esc を押して、「終了」メニューを表示する。
2. [設定を保存して再起動]または[設定を保存しないで再起動]を選んで Enter を押す。
3. [はい]を選んで Enter を押す。

使ってみる

ユーザーパスワードで制限される項目

「起動する」（➡38ページ）の手順3で入力したパスワードの種類によって、表示/設定できる項目が異なります。

本機を複数の人で使う場合は、スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードの両方を設定します。パソコンに詳しくない人などには、ユーザーパスワードだけを教えておきます。これにより、設定を変更されるのを防ぐことができます。

● **スーパーバイザーパスワードを入力した場合**

セットアップユーティリティのすべての項目が設定できます。

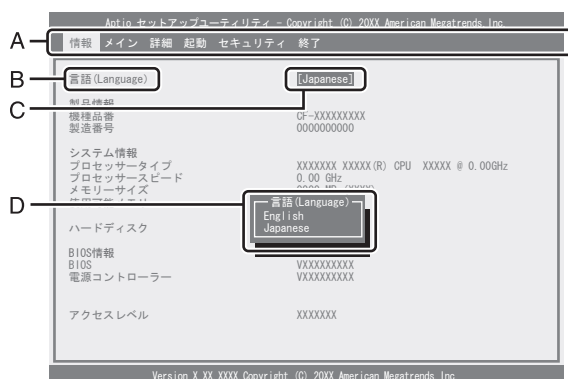
● **ユーザーパスワードを入力した場合**

次のような制限があります（可能：○、不可能：×）。また、各項目の設定値を工場出荷時の値（パスワード、システム時間、システム日付を除く）に戻す F9 は使えません。

メニュー	参照	変更
「詳細」メニュー	○	×
「起動」メニュー	○	×
「セキュリティ」メニュー：[Setup Utility 表示]	○	×
「セキュリティ」メニュー：[起動時のパスワード]	○	×
「セキュリティ」メニュー：[スーパーバイザーパスワード設定]	×	×
「セキュリティ」メニュー：[ハードディスク保護]	×	×
「セキュリティ」メニュー：[ユーザーパスワード保護]	○	×
「セキュリティ」メニュー：[ユーザーパスワード設定]	○	○※1
「セキュリティ」メニュー：[内蔵セキュリティ（TPM）]	×※2	×※2
「終了」メニュー：[デフォルト設定]	×	×
「終了」メニュー：[デバイスを指定して起動]	×	×

※1 [ユーザーパスワード保護]が[保護しない]に設定されている場合のみ、ユーザーパスワードの変更が可能。ただし、ユーザーパスワードを削除することはできません。

※2「内蔵セキュリティ（TPM）」サブメニューの[設定サブメニュー保護]が[保護しない]に設定されている場合は、参照/変更が可能（[設定サブメニュー保護]を除く）。

セットアップユーティリティを操作する

A. [←][→]を押してカーソルを移動させ、メニューを選ぶことができます。

B. 選択できる項目が複数ある場合は[↑][↓]を押して項目を選ぶことができます。選択された項目は色が変わります。

C. 反転表示されている項目は[Enter]を押してサブメニューを表示させることができます。

D. サブメニューが表示されているときは[↑][↓]を押して項目を選ぶことができます。

設定に使うキー

[→][←] ：「情報」「メイン」「詳細」「起動」「セキュリティ」「終了」の各メニューを選択。

[↑][↓] ：カーソルを上下に移動（項目を選ぶときに使用）。

[Enter] ：[↑][↓]で項目を選んだ後に設定できる各項目のサブメニューを表示。

[F5] ：各項目の前候補を選択（設定値の変更時に使用）。

[F6] ：各項目の次候補を選択（設定値の変更時に使用）。

[F1] ：一般のヘルプを表示（[OK]を選ぶとヘルプの画面を閉じる）。

[F9] ：各項目の設定値を工場出荷時の値（パスワード、システム時間、システム日付を除く）に戻す。

[F10] ：設定を保存して再起動。

[Esc] ：サブメニューの終了、または「終了」メニューを表示。

「情報」メニュー

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

メニュー	働き	選択項目
言語（Language）	セットアップユーティリティの言語を選択します。	English Japanese
製品情報 機種品番 製造番号 システム情報 プロセッサータイプ プロセッサースピード メモリーサイズ 使用可能メモリー ハードディスク BIOS情報 BIOS 電源コントローラー アクセスレベル	情報の表示・確認用です。項目を選択したり変更したりすることはできません。	

「メイン」メニュー

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

メニュー	働き	選択項目
システム日付	Tabでカーソルを年、月、日に移動できます。キーボードから直接入力するか、F5 F6で数値の修正ができます。	[xxxx/xx/xx(x)]
システム時間	24時間制です。Tabでカーソルを時、分、秒に移動できます。キーボードから直接入力するか、F5 F6で数値の修正ができます。	[xx:xx:xx]

メイン設定

メニュー	働き	選択項目
フラットパッド	ホイールパッドを使う（有効）/使わない（無効）を設定します。	無効 有効
Fn/左Ctrlキー	内部キーボードのFnとCtrl（左側）の機能を入れ換えず工場出荷時のまま使う（標準）/入れ換えて使う（入れ換え）を設定します。 Fn Ctrl機能入れ換えユーティリティでも設定することができます。 入れ換えた場合、Fn（「Ctrl」と印刷されている左側のキー）とCtrl（右側）のキーを押しながらもう1つのキーを押す操作はできません。 キー表面の印刷やキーそのものを入れ換えることはできません。	標準 入れ換え

メニュー	働き	選択項目
ディスプレイ	Windowsが起動するまでの表示先を設定します。外部ディスプレイを接続していないときは、[外部ディスプレイ]を選んでいても、すべての情報が内部LCDに表示されます。Windows起動後は、デスクトップの何もないところを右クリックして[グラフィック プロパティ]で設定した内容が有効になります。	外部ディスプレイ 内部LCD

メニュー	働き	選択項目
光学ドライブ電源	起動時に、CD/DVD ドライブの電源を入れる（オン）/入れない（オフ）を設定します。 ●[オン]に設定した場合、次回起動時に、内蔵CD/DVD ドライブから起動（ブート）できるようになります。 内蔵CD/DVD ドライブから起動するときは、[オン]に設定してください。ただし、「詳細」メニューの[光学ドライブ]が[無効]に設定されているときは、この項目は設定できません。 ●[オフ]の場合、Windowsが起動するまでディスクカバーを開くことができません。 ●オン/オフに関係なく、Windowsが起動するまでは、ドライブ電源/オープンスイッチでドライブの電源をオン/オフすることはできません。	オフ オン
充電中バッテリー状態表示	バッテリーパックの充電中にバッテリー状態表示ランプを点灯する/明滅するを設定します。	点灯 明滅
LED輝度	電源状態表示ランプの明るさを設定します。[連動]では、内部LCDの明るさに合わせてランプの明るさが変わります。[減光]では常に暗くなります。	連動 減光

「詳細」メニュー

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

CPU設定

メニュー	働き	選択項目
データ実行防止機能	データ実行防止機能（プログラムのメモリー（バッファー）を悪用した不正プログラムの実行を阻止する機能）を使う（有効）/使わない（無効）を設定します。 通常は[有効]に設定しておいてください。	無効 有効
Core Multi-Processing	Core Multi-Processing（複数のプロセッサーコアによる処理の分散）を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。 工場出荷時のWindows XP使用時は[有効]のままお使いください。[無効]に設定した場合の動作はサポートしていません。	無効 有効
Intel(R) Virtualization Technology	Intel(R) Virtualization Technology の[有効]/[無効]を設定します。[有効]に設定すると、Intel(R) Virtualization Technologyに対応した仮想化ソフトウェアを使用する場合に、CPUの負荷を軽減することができます。通常は[無効]のままお使いください。	無効 有効

周辺機器設定

メニュー	働き	選択項目
光学ドライブ	内蔵CD/DVD ドライブを使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。	無効 有効
LAN	内蔵LANの機能を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。	無効 有効
Power On by LAN機能	LAN経由で本機の電源を入れるPower On by LAN機能を使用しない（禁止）/使用する（許可）を設定します。 LAN経由で電源を入れた場合、起動時のパスワード入力画面は表示されなくなります。	禁止 許可
無線LAN	内蔵無線LANの機能を使用する（有効)/使用しない（無効）を設定します。	無効 有効
モデム	内蔵モデムの機能を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。	無効 有効

メニュー	働き	選択項目
PCカード スロット	PCカードスロットを使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。	無効 有効
SDスロット	SDメモリーカードスロットを使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。	無効 有効

メニュー	働き	選択項目
USBポート	本機およびミニポートリプリケーター（別売り）のUSBポートを使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。	無効 有効
レガシー USB	Windowsが起動する前に、USBキーボードおよびUSBフロッピーディスクドライブを本機に認識させる機能を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。[USBポート]が[有効]に設定されている場合のみ、効果があります。 [無効]に設定した場合でも、USBキーボードを使ってセットアップユーティリティを操作することができます。	無効 有効

「起動」メニュー

オペレーティングシステムを起動するデバイスの優先順位を設定します。
優先順位を変更する場合、まず設定したい優先順位を選択し、次に対象のデバイスを選択します。
例：ハードディスクから起動する場合

① ↑↓で[起動オプション #1]を選択し、Enterを押す。
② ↑↓で[ハードディスク]を選択し、Enterを押す。

同じ操作で[起動オプション #2]から[起動オプション #6]にデバイスを設定することができます。[起動オプション #1]に設定されているデバイスが認識できない場合は、[起動オプション #2]に設定されているデバイスから起動します。

メモ

- 内蔵CD/DVDドライブから起動する場合、次の設定になっていることを確認してください。
  - 「詳細」メニューの[光学ドライブ]が[有効]
  - 「メイン」メニューの[光学ドライブ電源]が[オン]
  - 「起動」メニューの[起動オプション #1]が[CD/DVDドライブ]
- USBポートに接続している機器から起動する場合、次の設定になっていることを確認してください。
  - 「詳細」メニューの[USBポート]が[有効]
  - 「詳細」メニューの[レガシー USB]が[有効]
- 起動できる別売りのフロッピーディスクドライブについては、付属の『取扱説明書 準備と設定ガイド』をご覧ください。
- CD/DVDドライブから起動するときなど、一度だけ通常と異なる優先順位で起動する場合は、「終了」メニューの[デバイスを指定して起動]の下に表示されているデバイスを選んでEnterを押してください。
- 本機では内蔵以外のCD/DVDドライブからの起動はサポートしていません。

「セキュリティ」メニュー

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

起動時の表示設定

メニュー	働き	選択項目
Setup Utility表示	起動後すぐに表示される「Panasonic」起動画面の下に[Press F2 for Setup/F12 for LAN]というメッセージを表示させる（有効）/表示させない（無効）を設定します。	無効 有効
起動時のパスワード	パソコンの起動時にスーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードの入力を必要とする（有効）/必要としない（無効）を設定します。	無効 有効

メニュー	働き	選択項目
スーパーバイザーパスワード設定	セットアップユーティリティの設定を他の人に変更されたくないとき設定します。また、本機を起動されたくない場合は、スーパーバイザーパスワードを設定した後、[起動時のパスワード]を[有効]に設定してください。	サブメニュー表示
ハードディスク保護	ハードディスクを別のパソコンに取り付けた際に、ハードディスクのデータが読み書きできないように保護する（有効）/保護しない（無効）を設定します。スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。	無効 有効
ユーザーパスワード保護	ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したときに、ユーザーパスワードの変更を許可しない（保護する）/許可する（保護しない）を設定します。	保護する 保護しない
ユーザーパスワード設定	本機を複数の人でお使いになるときなどに設定します。 スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。	サブメニュー表示

メニュー	働き	選択項目
内蔵セキュリティ（TPM）	内蔵セキュリティチップ（TPM）の設定に関するサブメニューを表示します。 スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。 • 設定サブメニュー保護 ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したときに、[内蔵セキュリティ（TPM）]を表示する（保護しない）/表示しない（保護する）を設定します。 • TPMの状態 内蔵セキュリティチップ（TPM）を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。 • 待機中のTPM操作 [所有者情報の初期化]を選択すると、内蔵セキュリティチップ（TPM）内に保持された所有者情報を初期化し、内蔵セキュリティチップ（TPM）により保護されたデータを復元または利用できないようにします。本機を廃棄・譲渡する際に使用してください。 • 現在のTPMの状態 現在のTPMの設定が表示されます。項目を選択したり変更したりすることはできません。 Escを押すと、設定した内容を適用してサブメニューを閉じます。	サブメニュー表示

セットアップユーティリティでパスワードを設定する

セットアップユーティリティでパスワードを設定すると、セットアップユーティリティ起動時にパスワードの入力が必要になります。また、[起動時のパスワード]を[有効]に設定しておくと、電源を入れた直後にパスワード入力が必要になるため、第三者の不正な利用を防ぐことができます。
設定する前に、必ず『操作マニュアル』「(セキュリティ)」の「パソコン起動時のパスワードを設定する」をご覧ください。

1 パソコンの電源を入れる。または、Windowsを終了して再起動する。

2 パソコンの起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間にF2またはDelを押してセットアップユーティリティを起動する。

3 ←→で[セキュリティ]を選ぶ。

スーパーバイザーパスワードを設定する場合：
↑↓で[スーパーバイザーパスワード設定]を選び、Enterを押す。
ユーザーパスワードを設定する場合：
↑↓で[ユーザーパスワード設定]を選び、Enterを押す。

- ユーザーパスワードを設定するには、まずスーパーバイザーパスワードを設定する必要があります。

4 [新しいパスワードを入力してください]の[　　　]の中に新しいパスワードを入力し、Enterを押す。

- 入力したパスワードは画面には表示されません。
- パスワードに使える文字は、半角の英数字とスペースで最大32文字です。
  - 大文字、小文字の区別はありません。
  - 数字はキーボード上段の数字キーを使って入力してください。
  - ShiftやCtrlなどのキーと組み合わせて入力することはできません。

5 [新しいパスワードを確認してください]の[　　　]の中に手順4で入力したパスワードを再度入力し、Enterを押す。

6 F10を押し、[はい]を選んでEnterを押す。

重 要

パスワードは忘れないようにしてください。

- **お客さまが設定されたパスワードなど、セキュリティに関する設定は、弊社のサービスセンターなどで解除することはできません。**
  パスワードなどの設定内容は忘れないようにしてください。
- **スーパーバイザーパスワードを忘れてしまった場合**
  有償での修理が必要になります。修理窓口へお問い合わせください。お持ち込みいただき、数日間お預かりさせていただくことになります。セットアップユーティリティの設定は工場出荷時の状態に戻ります。また、ハードディスク保護を有効に設定している場合、修理でも無効にできませんので、パスワードは絶対に忘れないようにご注意ください。

セットアップユーティリティ

●ユーザーパスワードを忘れてしまった場合
セットアップユーティリティを起動してパスワード入力画面でスーパーバイザーパスワードを入力すると、ユーザーパスワードを設定し直すことができます。
スーパーバイザーパスワードを知らない場合は、スーパーバイザーパスワードを設定した人にご相談ください。

●本機の修理を依頼される場合
スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードの両方を無効にしておいてください。

ハードディスク保護を設定する

セットアップユーティリティのパスワードを設定しておくと、パスワードを知らない第三者がパソコンを使うことはできなくなりますが、パソコンを分解し、内蔵のハードディスクを取り外して他のパソコンに取り付けると、ハードディスク内に保存されている情報が読まれてしまうおそれがあります。
ハードディスク保護は、データの完全な保護を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

1 セットアップユーティリティを起動する。（➡45ページ手順１と２）
パスワードの入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。
スーパーバイザーパスワードを設定していない場合は、次の手順２で設定してください。

2 ←→で [セキュリティ] を選ぶ。
スーパーバイザーパスワードを設定する場合：
① ↑↓で [スーパーバイザーパスワード設定] を選び、Enterを押す。
② [新しいパスワードを入力してください] の [　　　　] の中に新しいパスワードを入力し、Enterを押す。
③ [新しいパスワードを確認してください] の [　　　　] の中に手順②で入力したパスワードを再度入力し、Enterを押す。

3 ↑↓で [ハードディスク保護] を選び、Enterを押す。

4 ↑↓で [有効] を選び、Enterを押す。

5 確認の画面でEnterを押す。

6 F10を押し、[はい] を選んでEnterを押す。

起動時に「ハードディスク保護により、アクセスが禁止されています」と表示された場合は、セットアップユーティリティを起動し、設定内容をハードディスク保護を設定したときと同じ内容に設定し直してください。

「終了」メニュー

メニュー	働き
設定を保存して再起動	設定内容を保存して再起動します。
設定を保存しないで再起動	設定内容を保存しないで再起動します。

保存オプション

メニュー	働き
設定を保存する	設定内容を保存します。
設定を戻す	変更前の設定に戻します。

メニュー	働き
デフォルト設定	セットアップユーティリティを工場出荷時の設定に戻します。

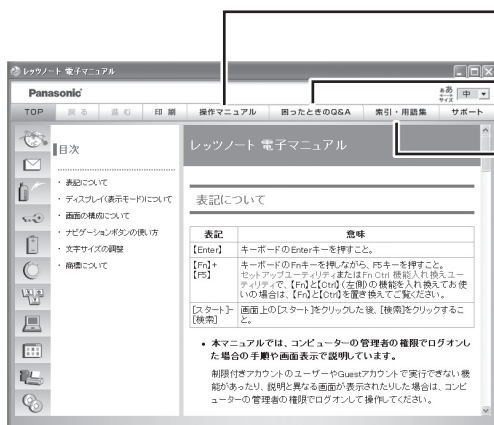
メニュー	働き
デバイスを指定して起動	OSを起動させるデバイスを指定します。次回起動時のみ選択したデバイスから起動します。

メニュー	働き
診断ユーティリティ	PC-Diagnosticユーティリティを起動し、ハードウェアの診断を行います。（➡59ページ）

このパソコンにトラブルがあったときは

本機が起動しない、動かないなどのトラブルが発生した場合、わからないことがあった場合などは、次の順番で確認してください。

1 マニュアルで調べる

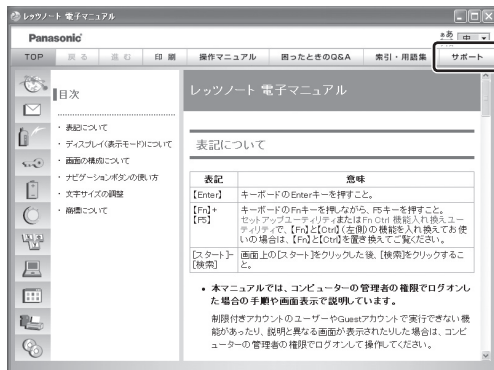
● Windowsが起動するとき
『操作マニュアル』や『困ったときのQ&A』などで調べてください。
スタート - 操作マニュアル をクリック

パソコンの使い方や設定方法などを説明しています。

よくある質問、解決方法を説明しています。

用語を解説しています。
索引から説明を探すことができます。

● 本機が起動しないとき／電源は入るがWindowsが正常に起動しないとき
本書の「困ったとき」で調べてください。➡51ページ、52ページ
再インストールしてください。➡62ページ

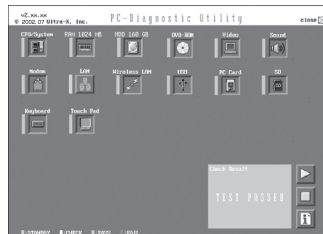
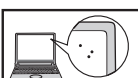
2 Webで調べる

● よくある質問（FAQ）の確認／OS、BIOS、アプリケーションソフト関連などのアップデートプログラムをダウンロード
弊社のWebで調べる http://askpc.panasonic.co.jp

（Webページのデザインは改善などのため予告なく変更する場合があります。）

● セキュリティ情報
弊社のWebページで調べる http://askpc.panasonic.co.jp/security/index.html

● Windows関連
MicrosoftのWebページで調べる http://www.microsoft.com/japan/windowsxp/sp2

3 ハードウェアを診断する（PC-Diagnosticユーティリティで調べる）

PC-Diagnosticユーティリティの起動方法や診断時のお願いについて詳しくは、「ハードウェアを診断する」（➡59ページ）をご覧ください。

4 アプリケーションソフトや周辺機器の製造元に問い合わせる

アプリケーションソフトまたは周辺機器の製造元にお問い合わせください。

5 再インストールする

本書の「再インストールする（パーティションを変更する）」➡62ページ

6 お問い合わせ/保証とアフターサービス

●お問い合わせは、次の内容ではありませんか？

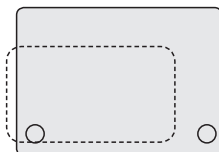
症状	対処
電源が入らない	RAMモジュールを増設している場合は、RAMモジュールを取り外して再度電源を入れてください。
バッテリーがもたない（駆動時間が短い）	使用環境を確認してください。（➡31ページ）
画面に黒い点や、色が付いている点がある	故障ではありません。あらかじめご了承ください。（➡57ページ）
内蔵CD/DVDドライブからカタカタまたはジーという音がする	内蔵CD/DVDドライブの電源を入れた直後、または本体の電源を入れた直後、CD/DVDドライブから音がする場合があります。これはCD/DVDドライブのモーターなどが作動した音で、故障ではありません。あらかじめご了承ください。（➡33ページ）
WordやExcelが入っていない	Microsoft® Office WordやMicrosoft® Office Excelを使うには、Microsoft® Office Personal Editionなどが必要です。
ACアダプターを抜くと画面が暗くなった	Fn+F2を押してください。明るくなります。（➡17ページ）

このパソコンにトラブルがあったときは

●本機に関するお問い合わせ
次のご相談窓口にお問い合わせください。

商品についてのお問い合わせは	
パナソニックパソコンお客様ご相談センター	
電　話　フリーダイヤル	0120-873029（パナソニック）
ＦＡＸ	(06)6905-5079
365日／受付9時～20時	
（パソコン製品の使い方や技術的なご質問も承っております。）	

お問い合わせの際は、下記の機種品番（Panasonic ロゴマークの下に記載）をお伝えください。

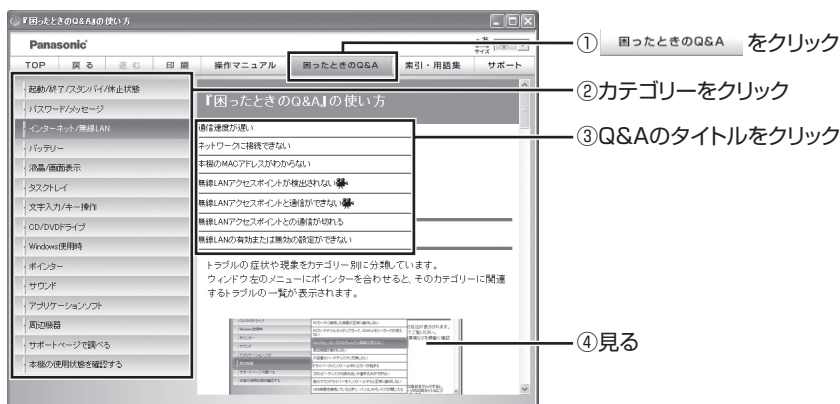
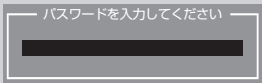
〈本体底面イメージ〉

下の欄にあらかじめ控えておくと便利です。

C	F	-								

●修理に関するお問い合わせ

1. 修理依頼表に記入する。（➡78ページ）
2. 付属の『取扱説明書 準備と設定ガイド』で修理に関する詳しい情報を確認し、修理窓口へ連絡する。

起動/終了/スタンバイ/休止状態のQ&A

本機が起動しない、動かないなどのトラブルが発生した場合は、51 ～ 69ページで解決方法を確認してください。
解決方法が見当たらない場合は、 スタート - 操作マニュアル をクリックして『困ったときのQ&A』も確認してください。

質　問	対　策
本機が起動しない/バッテリー状態表示ランプ が点灯しないときは？	ACアダプターまたは十分に充電されたバッテリーパックが正しく取り付けられているか確認してください。 ➡『取扱説明書 準備と設定ガイド』
	バッテリーパックがしっかりと固定されていることを確認してください。
	RAMモジュールを増設または交換した場合は、RAMモジュールを取り外して再度電源を入れてください。RAMモジュールを外すと電源が入る場合は、RAMモジュールの問題が考えられます。 ●本機の電源を切り、推奨のRAMモジュールであることを確認し、正しく取り付け直してください。 ●RAMモジュールの仕様を確認してください。 RAMモジュールについては、「メモリー容量を増やす」（➡35ページ）または「仕様」（➡71ページ）をご覧ください。
	CPUの温度が上がっている可能性があります。CPUの温度が上がっていると、CPUの過熱を防止するための機能が自動的に働き、本体が起動しないようになっています。しばらくしてから再度電源を入れてください。それでも起動しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。
	電源コードを抜き、1分以上待ってから再度接続してください。 ACアダプターとバッテリーパックを正しく接続していてもバッテリー状態表示ランプが点灯しないときは、ACアダプターの保護機能が働いている場合があります。電源コードを接続し直してもランプが点灯しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。
Windowsを起動すると、チェックディスク（CHKDSK）が始まるときは？	SD/SDHCメモリーカードへの書き込み中に、カードを取り出しませんでしたか？チェックディスクが終了するまでそのままお待ちください。 ➡ 『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「SD/SDHCメモリーカードを使う」
Administratorのユーザーアカウントでログオンしたいときは？	「Administrator」のアカウントでログオンするには、ログオン画面で Ctrl + Alt + Del を2回押し、[ユーザー名]に[Administrator]と入力します。パスワードを設定していた場合はパスワードを入力して[OK]をクリックしてください。

起動/終了/スタンバイ/休止状態のQ&A

質　問	対　策
電源は入るがWindowsが正常に起動しないときは?	電源状態表示ランプ⏻が点灯している場合は、ハードディスク状態表示ランプが点灯していないなど、ハードディスクにアクセスしていないことをご確認のうえ、電源スイッチを4秒以上スライドして電源を切ってください。その後、再度電源を入れてください。
	セットアップユーティリティの設定を工場出荷時に戻してください。(➡40ページ)
	USBメモリーなど、周辺機器を接続している場合は、周辺機器を取り外してください。 周辺機器を取り外すと起動できた場合は、周辺機器の問題が考えられます。周辺機器のメーカーにお問い合わせください。
	次の手順で、セーフモードで起動し、エラーの内容を確認してください。 ① 本機の電源を入れ、「Panasonic」起動画面が消えたとき(スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワード設定時はパスワード入力後)に F8 を押し続ける。 ②「Windows拡張オプションメニュー」が表示されたら指を離す。 ③ ↑ ↓ で[セーフモード]を選ぶ。 ④ Enter を押す。 以降は、画面に従って操作してください。
「Remove disks or other media. Press any key to restart」が表示されたときは?	システムを起動できないフロッピーディスクが、フロッピーディスクドライブにセットされていないか確認してください。セットされている場合は、取り出してから、何かキーを押してください。
	USB機器を接続している場合は、USB機器を取り外すか、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで[レガシーUSB]を[無効]に設定してください。 セットアップユーティリティの起動方法:➡38ページ
	設定しても同じメッセージが表示される場合、ハードディスクに何らかの問題が発生していることがあります。 ●再インストールを行い、ハードディスクをお買い上げ時の状態に戻してください。(➡62ページ)
フロッピーディスクから起動できないときは?	当社製外部FDD(品番:CF-VFDU03U)を接続しているか確認してください。他のフロッピーディスクドライブからは起動できません。
	パソコンの電源を切り、外部FDDを接続し直してください。
	起動用ディスクが正しくセットされているか確認してください。 システムを起動できないフロッピーディスクがセットされている場合は、起動用ディスクと交換し、何かキーを押してください。
	セットアップユーティリティを起動し、次の設定になっていることを確認してください。 •「詳細」メニューの[USBポート]が[有効] •「詳細」メニューの[レガシーUSB]が[有効] •「起動」メニューで[起動オプション #1]が[USBフロッピー] 次回起動時のみ、フロッピーディスクから起動する場合は、「終了」メニューで[デバイスを指定して起動]の下に表示されているフロッピーディスクドライブのデバイス名(例:[MATSHITAFDD XXXXX])を選び、Enter を押してください。

<table>
<tr><th>質　問</th><th>対　策</th></tr>
<tr><td rowspan="4">Windowsの起動や動作が遅いときは？</td><td>メモリー容量を増やしてください。</td></tr>
<tr><td>お買い上げ後にインストールした常駐アプリケーションソフトがある場合は、そのアプリケーションソフトの常駐を解除してください。</td></tr>
<tr><td>ディスクデフラグを実行してください。</td></tr>
<tr><td>なお、動作は使用するアプリケーションソフトに依存することもあり、すべての動作が改善されるわけではありません。あらかじめご了承ください。</td></tr>
<tr><td>再起動すると、内蔵CD/DVDドライブの電源がオフになるときは？</td><td>セットアップユーティリティの「メイン」メニューの[光学ドライブ電源]が[オフ]に設定されています。ドライブの電源を常にオンの状態で起動したい場合は、[光学ドライブ電源]を[オン]に変更してください。ただし、[オン]に設定すると、本体の電源を入れた直後にドライブの作動音が鳴ります。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">電源が切れない（Windowsが終了しない）ときは？</td><td>周辺機器を接続している場合は、取り外してからWindowsを終了してください。
周辺機器を取り外すと終了できた場合は、周辺機器のメーカーにお問い合わせください。</td></tr>
<tr><td>アプリケーションソフトをインストールした後で電源が切れなくなった場合は、[スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除]をクリックし、ご購入後にインストールしたアプリケーションソフトを削除してください。
削除すると終了できた場合は、アプリケーションソフトのメーカーにお問い合わせください。</td></tr>
<tr><td>次の手順で、ディスクのエラーチェックを行ってください。
① 外部ディスプレイを含むすべての周辺機器を取り外す。
② [スタート]-[マイコンピュータ]をクリックし、[ローカルディスク（C:）]を右クリックして、[プロパティ]をクリックする。
③ [ツール]をクリックして、[チェックする]をクリックする。
④ [チェックディスクのオプション]で[ファイルシステムエラーを自動的に修復する]と[不良セクタをスキャンし、回復する]にチェックマークを付け、[開始]をクリックする。
⑤「次回のコンピュータの再起動後に、このディスクの検査を実行しますか？」というメッセージが表示されたら[はい]をクリックする。
⑥ Windowsを再起動する。

チェックディスクにかかる時間は、ドライブの容量やファイルの内容、[チェックディスクのオプション]の設定により異なります。
チェックディスクを行っても解決できない場合は、再インストールを行い、ハードディスクをお買い上げ時の状態に戻してください。
（➡62ページ）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">スタンバイ・休止状態からリジューム（復帰）しないときは？</td><td>次のような場合は、電源スイッチをスライドして電源を入れてください。なお、保存していないデータは失われます。
• スタンバイ状態のとき、ACアダプターおよびバッテリーパックを取り外した。
• 周辺機器の取り付け/取り外しを行った。
• 電源スイッチを４秒以上スライドして強制終了した。</td></tr>
<tr><td>バッテリーの残量が少ない、または完全に放電している可能性があります。ACアダプターを接続し、リジュームしてください。</td></tr>
</table>

パスワード/メッセージのQ&A

質　問	対　策
パスワードを入力しても再度入力を求められるときは？	1ランプが点灯している場合は、NumLkを押してテンキーモードを解除してから入力してください。
	Aランプが点灯している場合は、Shiftを押しながらCaps Lockを押してキャップスロックを解除してから入力してください。
「パスワードを入力してください」が表示されたときは？ パスワードを入力してください	スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力してください。スーパーバイザーパスワードを忘れてしまった場合は有償での修理が必要となります。ご相談窓口にご相談ください。 ユーザーパスワードを忘れてしまった場合は、セットアップユーティリティを起動して、パスワード入力画面でスーパーバイザーパスワードを入力してください。 ユーザーパスワードを設定し直すことができます。
パスワードの入力画面が表示されないときは？	スタンバイ・休止状態からリジュームしたときはセットアップユーティリティで設定したパスワード入力は要求されません。 次の手順で、Windowsのパスワードを設定し、Windowsのパスワード入力が必要となるように設定してください。 ① [スタート]-[コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]をクリックする。 ② 変更するアカウントをクリックして、パスワードを設定する。お使いのモデルによっては、[ユーザーアカウント]を再度クリックする操作が必要です。 ③ [コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]-[詳細設定]をクリックし、[スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める]をクリックしてチェックマークを付ける。
コンピューターの管理者のパスワードを忘れたときは？	「ようこそ」画面でCtrl+Alt+Delを2回押し、[ユーザー名]に[Administrator]と入力してログオンした後、パスワードを設定し直してください。 「Administrator」のパスワードも忘れてしまってログオンできない場合は、再インストールして、ハードディスクを工場出荷時の状態に戻す必要があります。ただし、再インストールをすると、作成したデータやインストールしたアプリケーションソフト、メールの履歴などは消去されます。 パスワードリセットディスクを作成していた場合、パスワード入力失敗後に表示されるメッセージに従って、パスワードを再設定してください。
Windowsが起動せず、数字またはメッセージが表示されたときは？	システムの起動エラーです。「エラーコードが表示されたら」(➡69ページ）の内容に従って操作してください。
	「Remove disks or other media. Press any key to restart」が表示された場合は、52ページをご覧ください。

バッテリーのQ&A

質　問	対　策
カタログの記載よりもバッテリーの駆動時間が短いときは？	カタログや本書の「仕様」（➡71ページ）などに記載されているバッテリーの駆動時間は、「JEITA バッテリ動作時間測定法（Ver.1.0）」に基づき測定された数値です。 バッテリーの駆動時間は、画面を明るくして使っているときなど、使用環境やバッテリーのエコノミーモード(ECO)の有効/無効によって異なります。 ➡31ページ
バッテリー状態表示ランプ が赤色に点灯しているときは？	バッテリーの残量が少なくなっています（残量約9%以下）。 ACアダプターを接続してバッテリー状態表示ランプがオレンジ色に変わったら、そのままお使いください。ACアダプターがない場合は、すぐにデータを保存し、Windowsを終了してください。その後、十分に充電されたバッテリーパックに交換してから電源を入れてください。
バッテリー状態表示ランプ が点滅しているときは？	赤色に点滅している場合は、すぐにデータを保存し電源を切った後、バッテリーパックとACアダプターを本体から取り外し、取り付け直してください。 それでも赤色に点滅する場合は、バッテリーパックまたは充電回路の故障が考えられます。ご相談窓口にご相談ください。
	オレンジ色に点滅している場合は、次のどちらかの状態が考えられます。 ●バッテリーパック内部の温度が充電可能な範囲外のため、一時的に充電できない状態です。温度が充電可能な範囲内になると自動的に充電が始まります。そのままお使いください。 ●アプリケーションソフトや周辺機器（USB機器など）が多くの電力を消費し電力不足になっているため、充電できない状態です。起動しているアプリケーションソフトを終了させるか、周辺機器を取り外してください。電力不足が解消されれば自動的に充電が始まります。
バッテリー状態表示ランプ が明滅しているときは？	バッテリーの充電中です。 セットアップユーティリティの「メイン」メニューで[充電中バッテリー状態表示]を[明滅]に設定すると、点灯状態が明るくなったり少し暗くなったり（明滅）します。
「バッテリー残量表示補正ユーティリティ」画面が表示されたときは？	バッテリー残量表示補正を実行した後、「プログラムの終了」画面で[キャンセル]をクリックした可能性があります。[キャンセル]をクリックするとWindowsの終了処理が中止され、次回起動時に再びバッテリー残量表示補正が始まります。 ●Windowsを起動するには、電源スイッチをスライドして電源を切り、もう一度電源を入れてください。

ポインターと画面表示のQ&A

質　問	対　策
ホイールパッド使用時ポインターが動かないときは？	セットアップユーティリティの「メイン」メニューで[フラットパッド]が[有効]に設定されているか確認してください。
	キーボードを操作し、次の手順で外部マウスのドライバーを削除してください。インストールされていると、ホイールパッドが使えないことがあります。 ① ⊞、Rの順に押し、「devmgmt.msc」と入力してEnterを押す。 ② Tabを押し、↓を数回押して[マウスとそのほかのポインティングデバイス]を選び、→を押す。 ③ [Synaptics PS/2...]以外の名前が表示されている場合、外部マウスがインストールされているので、↓で外部マウスのドライバーを選び、Del、Enterの順に押し削除する。 ④ 再起動確認の画面で[はい]を選び、Enterを押す。 再起動確認の画面が表示されない場合は、⊞、Uの順に押し、↑↓←→で[再起動]を選んでEnterを押してください。 キーボードで操作できない場合は、電源スイッチを４秒以上スライドして電源を切った後、電源を入れてください。 ⑤ Synapticsのドライバーを再インストールする。 [スタート]-[ファイル名を指定して実行]をクリックし、「c:¥util¥drivers¥mouse¥setup.exe」と入力して[OK]をクリックします。以降、画面の指示に従ってインストールしてください。
	USBマウスヘルパーをセットアップしている場合、USBマウス接続時はホイールパッドでポインターは操作できません。 • ホイールパッドをお使いになる場合は、USBマウスを取り外してください。 • マウス接続用のPS/2ポートを内蔵したUSBキーボードを接続した場合、USBキーボードにマウスを接続していなくても、ホイールパッドは無効になります。 • USBマウスヘルパーをセットアップした状態で、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[マウス]-[デバイス設定]の設定を変更すると、USBマウスヘルパーをアンインストールした後、ホイールパッドが使えなくなる場合があります。その場合は、次の手順で設定を変更してください。 ① USBマウスを接続する。 ② [スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]をクリックする。 ③ [マウス]をクリックする。 ④ [デバイス設定]をクリックする。 ⑤ [有効]をクリックし、[OK]をクリックする。
ポインターが勝手に動くときは？	「ホイールパッドの感度を調節する」(➡28ページ）をご覧になり、ホイールパッドの感度を調節してください。
	外部マウスのドライバーがインストールされていないことを確認してください（上記の「ホイールパッド使用時ポインターが動かないときは？」の２つ目の項目の手順①～④をご覧ください）。

質　問	対　策
マウス接続時ポインターが動かないときは？	マウスが正しく接続されているか確認してください。
	接続したマウスのドライバーをインストールしてください。 外部マウスのドライバーをインストールすると、ホイールパッドが使えないことがあります。 詳しくは、『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「外部マウスを使う」をご覧ください。
	セットアップユーティリティの「メイン」メニューで[フラットパッド]を[無効]に設定してください。
	不具合などが修正された最新のドライバーがマウスのメーカーから配布されている場合があります。 詳しくは、お使いのマウスのメーカーにお問い合わせください。
マウス接続時ホイールパッドを無効にするには？	「ホイールパッドの有効/無効を切り替える」（➡29ページ）をご覧になり、USBマウスヘルパーをセットアップしてください。常に外部マウスで操作する場合は、セットアップユーティリティの「メイン」メニューで[フラットパッド]を[無効]にしてください。
暗い/暗くなったときは？	**Fn+F2を押してください。明るくなります。**➡17ページ
緑、赤、青のドットが残ったり、正しい色が表示されなかったりするときは？	**これは、故障ではありません。** カラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯（緑、赤、青色）するものがあります。有効画素が99.998%以上、画素欠けなどが0.002%以下の場合は、故障ではありません。あらかじめご了承ください。
一瞬真っ黒になるときは？	省電力設定ユーティリティの[画面表示の省電力機能]を有効に設定しているときに、次のような操作を行うと画面が一瞬真っ黒になる場合がありますが、故障ではありません。そのままお使いください。 • Fn+F1/Fn+F2で画面の明るさを調整する。 • ACアダプターを抜き挿しする。 動画再生ソフトやグラフィックのベンチマークソフトなどをお使いで、エラー画面が表示されたりソフトが正しく動作しなくなったりした場合は、『困ったときのQ&A』「アプリケーションソフト」の「アプリケーションソフトなどが正しく動作しない」をご覧ください。
何も表示されないときは？	電源状態表示ランプ⏻が点灯している場合は、ディスプレイの電源が切れています。CtrlやShiftなど動作に影響のないキーを押してください。選択に使うキー（Enter、（スペースキー）、Esc、Y、Nや数字キーなど）は使わないでください。
	電源状態表示ランプ⏻が点滅または消灯している場合は、スタンバイまたは休止状態になっています。電源スイッチをスライドしてください。
	画面の表示先が外部ディスプレイに設定されている可能性があります。 Fn+F3を押して表示先を切り替えてください。Fn+F3を続けて押す場合は、画面の表示先が完全に切り替わったことを確認してから押してください。
	画面が暗くなっている可能性があります。Fn+F2を押して画面を明るくしてください。（➡17ページ）

ポインターと画面表示のQ&A

質　問	対　策
残像が表示されるときは？	同じ画面を長時間表示させていると残像になることがあります。別の画面を表示してください。
画面が乱れるときは？	解像度/色数を変更したり、本機の動作中に外部ディスプレイの取り付け/取り外しを行ったりすると、画面が乱れることがあります。本機を再起動してください。
	内部LCDのリフレッシュレートが40ヘルツになっている可能性があります。内部LCDのリフレッシュレートを変更してください。 ① [スタート] - [コントロールパネル]をクリックする。 ② 左側の[関連項目]の[コントロールパネルのその他のオプション]をクリックする。 ③ [Intel (R) GMA Driver for Mobile] - [ディスプレイデバイス]をクリックする。 ④ [動作モード]で[Intel (R) デュアル・ディスプレイ・クローン]をクリックし、[ディスプレイ設定]をクリックする。 [Intel (R) デュアル・ディスプレイ・クローン]が表示されていない場合は、外部ディスプレイを接続してください。 ⑤ ノートブックの[リフレッシュレート]が[40ヘルツ]になっている場合は、[60ヘルツ]に変更し、[OK]をクリックする。
突然、MPEGやDVD-Videoの画像が残った青い画面になったときは？	CD/DVDドライブから、ディスクを取り出しませんでしたか？ 取り出したディスクをセットしてディスクカバーを閉じてください。

その他のQ&A

質　問	対　策
動画再生時に音が出ない	Windows Media Playerで動画を再生する場合、記録方式によっては動画の表示や音声が正しく再生されない場合があります。

ハードウェアを診断する

本機に搭載されているハードウェアが正しく動作しない場合は、PC-Diagnostic ユーティリティを使って、正常に動作しているかを診断することができます。
ハードウェアに異常が見つかったときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。詳しくは、「保証とアフターサービス」（➡『取扱説明書 準備と設定ガイド』）をご覧ください。

PC-Diagnosticユーティリティで診断するハードウェア

診断するハードウェア	PC-Diagnosticユーティリティの表示
CPU	CPU/System
メモリー	RAM xxxx MB
ハードディスク	HDD xxx GB
内蔵CD/DVDドライブ	DVD-ROM
ビデオコントローラー	Video
サウンド	Sound
モデム	Modem
LAN	LAN
無線LAN	Wireless LAN
USB	USB
PCカードコントローラー	PC Card
SDカードコントローラー	SD
内部キーボード	Keyboard
ホイールパッド	Touch Pad

- Video診断中に画面が乱れたり、Sound診断中にスピーカーから音が出ることがありますが、これらは異常ではありません。Sound診断中は、大きなビープ音が鳴りますので、ヘッドホンを装着しないでください。（Windowsでミュートに設定している場合、音は鳴りません。）
- ソフトウェアは診断できません。

操作のしかた

ホイールパッドで操作することをお勧めします。ホイールパッドで操作しないときは、代わりに内部キーボードで操作することもできます。

操作	ホイールパッドの操作	内部キーボードの操作
アイコンを選ぶ	ポインターをアイコンの上に合わせる	[　　]（スペースキー）を押してから[→][←][↑][↓]を押す（画面右上の[close]は選べません。）
アイコンをクリックする	タップまたはクリックする（右クリックは使えません。）	アイコン上で[　　]（スペースキー）を押す
PC-Diagnosticユーティリティを終了してパソコンを再起動する	画面右上の[close]をクリックする	[Ctrl]＋[Alt]＋[Del]を押す

ホイールパッドが正しく動作しない場合は、[Ctrl]＋[Alt]＋[Del]を押してパソコンを再起動するか、電源スイッチをスライドして電源を切った後に、再度PC-Diagnosticユーティリティを起動してください。

診断する

セットアップユーティリティを工場出荷時の状態にして実行します。セットアップユーティリティなどで使用できないように設定されている場合は、ハードウェアのアイコンがグレー表示になります。

1 周辺機器を取り外す。

2 ACアダプターを接続する。

診断中は、ACアダプターの抜き挿しや周辺機器の取り付け/取り外しを行わないでください。

3 パソコンの電源を入れる。または、Windowsを終了して再起動する。

4 パソコンの起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間にF2またはDelを押してセットアップユーティリティを起動する。

- お買い上げ時の状態から設定を変更して使っていた場合は、変更した設定をメモしておくことをお勧めします。
- 以降の手順でパスワードの入力画面が表示された場合は、スーパーバイザーパスワードを入力し、Enterを押してください。

5 F9を押す。

確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、Enterを押してください。

6 ←と→を使って「メイン」メニューに移動して[光学ドライブ電源]を[オン]に設定する。

7 ←と→を使って「終了」メニューに移動する。

8 ↑と↓を使って[設定を保存して再起動]を選びEnterを押す。

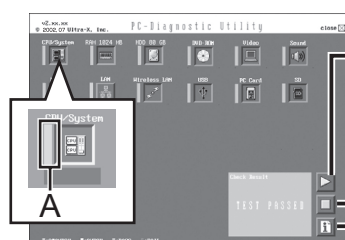
確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、Enterを押してください。

9 パソコンの起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間にF2またはDelを押してセットアップユーティリティを起動する。

10 ←と→を使って「終了」メニューに移動する。

11 ↑と↓を使って[診断ユーティリティ]を選びEnterを押す。

PC-Diagnosticユーティリティが起動し、自動的にすべてのハードウェアの診断が始まります。（画面は英語です。）

アイコンの左側（A）に青色と黄色が交互に表示され始めるまでは、ホイールパッドまたは内部キーボードが使えません。

診断中にクリックして行える操作

診断を最初から始めるとき

診断を中止するとき（診断を途中から再開することはできません）

ヘルプを表示するとき（画面をクリックするか［　　］（スペースキー）を押すと元の診断画面に戻ります）

- ハードウェアのアイコンの左側（A）の表示色で診断状況が確認できます。
  - 水色：診断していない状態
  - 青色と黄色が交互に表示：診断中。診断内容によって表示の間隔は異なります。RAM診断中は、表示が長時間止まることがありますが、そのままお待ちください。

• 緑色：正常と診断
• 赤色：異常と診断

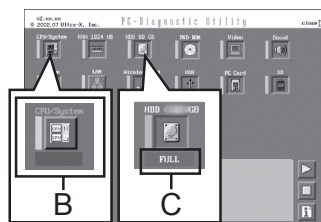
●気温が高い場所でお使いの場合、表示される診断時間よりも長くかかる場合があります。

メモ

●次の手順で、特定のハードウェアのみを診断することができます。

① ▢をクリックして診断を中止する。

② 診断しないハードウェアのアイコンをクリックしてグレー表示（B）にする。
ハードディスク、キーボード、ホイールパッドの場合は、クリックすると拡張診断（アイコンの下（C）に「FULL」と表示）になり、再度クリックするとグレー表示になります。

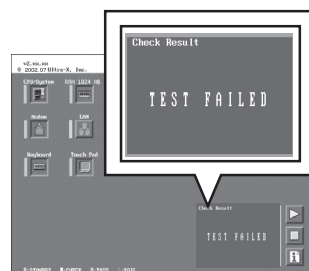
③ ▷をクリックして診断を始める。

●拡張診断ができるハードウェアは、ハードディスク、キーボード、ホイールパッドです。通常のご使用時は、キーボードとホイールパッドの拡張診断を行う必要はありません（これらの拡張診断は、ご相談窓口にお問い合わせいただいたときに診断を行っていただく場合があります）。ハードディスクの拡張診断は、標準診断に比べて詳しい診断を行うため、診断時間が長くなります。

●PC-Diagnosticユーティリティは、次の手順でも起動することができます。

① 手順6の後、F10を押す。
確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、Enterを押してください。
セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。

② パソコンの起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間にCtrl＋F7を押し続ける。

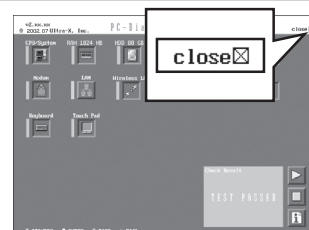
12 すべてのハードウェアが診断されたら、診断結果を確認する。

赤色になり「Check Result TEST FAILED」が表示されたら、パソコンのハードウェアが故障していると考えられます。赤色で表示されているハードウェアを確認して、ご相談窓口にご相談ください。
緑色になり「Check Result TEST PASSED」が表示されたら、パソコンのハードウェアは正常です。そのままお使いください。
それでも正しく動作しない場合は、再インストールしてください。（➡62ページ）

メモ

RAMモジュールを増設した状態でメモリー診断をして「Check Result TEST FAILED」が表示された場合：
増設されたRAMモジュールを取り外して診断を行ってください。それでも「Check Result TEST FAILED」が表示された場合、内蔵のRAMモジュールが故障していると考えられます。

13 診断が終了したら、画面右上の[close]をクリックするか、Ctrl＋Alt＋Delを押してパソコンを再起動する。

重要

セットアップユーティリティの「メイン」メニューで[光学ドライブ電源]が[オン]に設定されていると、パソコンの起動直後にドライブから振動や作動音がします。パソコン起動時に作動音を鳴らさないようにするには、[光学ドライブ電源]を[オフ]に設定してください。

再インストールする（パーティションを変更する）

再インストールとは

再インストールとはハードディスクをフォーマットして、Windowsをインストールし直すことです。
ハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。また、お買い上げ後にお客さまがインストールされたアプリケーションソフトや各種設定（インターネットの設定など）も削除されます。
データ用のパーティションを作成していた場合でも、予期しない誤動作/誤操作によりデータが消去されるおそれがあります。

Windowsが起動しなくなったり、Windowsの動作が不安定になって修復できなくなったりした場合や、ハードディスクを2つのパーティションに分割して使用する場合は、再インストールが必要です。

次の流れで再インストールしてください。

セットアップユーティリティの設定を変更する。

▼

プロダクトリカバリー DVD-ROMを使って再インストールする（約50分）。
（ここでパーティションの変更を設定します。）

▼

セットアップユーティリティの設定を工場出荷時の設定に戻す。

▼

Windowsのセットアップとユーザーアカウントの作成を行う。

▼

セットアップユーティリティの設定を変更する（必要な場合のみ）。

▼

インターネットに接続できる場合は、Windows Updateを行う。

パーティションの変更

パーティションとは、ハードディスク上に作成した領域（区画）のことです。
1つのハードディスクに複数のパーティションを作成することができます。複数のパーティションを作成した場合には、1つのディスクを複数のディスクのように扱うことができます。

- 工場出荷時、ハードディスクのパーティションは1つです。
  - パーティションを2つに分割する場合は、再インストールが必要です。
  - OS用として最低限必要なパーティションのサイズは、再インストール時に画面上でご確認ください。
  - 3つ以上のパーティションを作成したい場合は、再インストール後、Windowsの「ディスクの管理」を使って2つ目のパーティションを削除してから、空いた領域にパーティションを作成してください。

再インストールの前に

次のものを準備してください。

- **Windows XP用プロダクトリカバリー DVD-ROM**
- **CPRM拡張機能（CPRM Pack）プログラムを保存したメディア**
  （ダウンロードされた方のみ）

  再インストール後は、CPRM拡張機能（CPRM Pack）プログラムを再インストールする必要があります。CPRM拡張機能（CPRM Pack）は、登録ユーザーが20回までダウンロードできますが、再インストール前にメディアに保存することをお勧めします。まだ一度もダウンロードされていない場合や、ダウンロードが20回に達していない場合は、再インストール後にダウンロードすることができます。（➡16ページ）

周辺機器およびSDメモリーカードなどは、すべて取り外してください。
特に、USBフロッピーディスクドライブ、USB接続のメモリーや外付けCD/DVDドライブ、外付けのハードディスクを接続したままでは、再インストールが正常に行われない場合があります。

重要

- インストールしたアプリケーションソフトやメールの履歴などお客さまが作成したデータは、他のメディアや外付けのハードディスクなどへ必ずバックアップを取っておいてください。
- 再インストールしても、DVD-Videoのリージョンコードを設定できる回数は、工場出荷時の状態に戻りません。

再インストールする

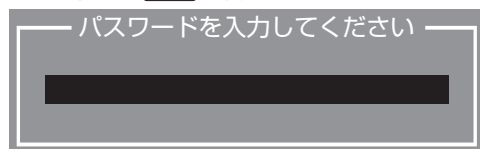
重要

再インストールの途中で電源を切ったり[Ctrl]+[Alt]+[Del]を押すなどして、再インストールを中止しないでください。
Windowsが起動しなくなったり、データが消失して再インストールを実行できなくなったりするおそれがあります。

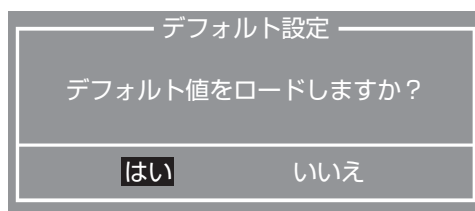
1 ACアダプターを接続する。

2 本機の電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に[F2]または[Del]を押し、セットアップユーティリティを起動する。

- パスワードを設定している場合は、次の画面でスーパーバイザーパスワードを入力し、[Enter]を押してください。

パスワードを入力してください

- ユーザーパスワードでは、各項目の設定値を工場出荷時の値(パスワード、システム時間、システム日付を除く)に戻す[F9]は使えません。
- お買い上げ時の状態から設定を変更して使っていた場合は、あらかじめ変更した設定をメモしておくことをお勧めします。

3 [F9]を押す。

次の画面で[はい]を選び、[Enter]を押してください。

デフォルト設定
デフォルト値をロードしますか?
はい　いいえ

4 [←]と[→]を使って「メイン」メニューに移動する。

5 [↑]と[↓]を使って[光学ドライブ電源]を選び、[Enter]を押して[オン]を選び、[Enter]を押す。

6 [F10]を押して、確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、[Enter]を押す。

セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。
パスワードを設定している場合、以降の手順で「パスワードを入力してください」と表示されることがありますので、スーパーバイザーパスワードを入力して、[Enter]を押してください。

7 「Panasonic」起動画面が表示されている間に[F2]または[Del]を押し、セットアップユーティリティを起動する。

8 Windows XP用プロダクトリカバリーDVD-ROMをCD/DVDドライブにセットする。

ディスクカバーが開かない場合は、次の手順を行ってください。

① 「詳細」メニューの[光学ドライブ]を[有効]、「メイン」メニューの[光学ドライブ電源]を[オン]に設定する。
② [F10]を押し、確認のメッセージが表示されたら[はい]を選び、[Enter]を押す。
③ 「Panasonic」起動画面が表示されている間に[F2]または[Del]を押し、セットアップユーティリティを起動する。
④ Windows XP用プロダクトリカバリーDVD-ROMをセットする。

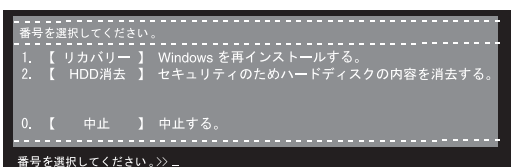
困ったとき

再インストールする（パーティションを変更する）

9 **←と→を使って「終了」メニューに移動する。**

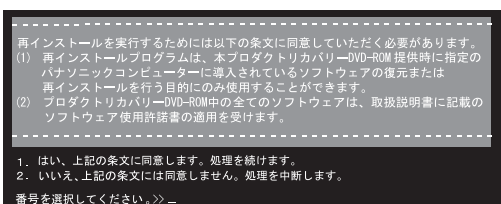
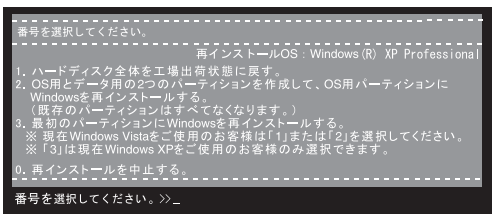
10 **↑と↓を使って[デバイスを指定して起動]の[MATSHITAXXXXX]を選び、Enterを押す。**

11 **1を押して[1.【リカバリー】]を実行する。**

（以降の画面はすべて一例です。）

再インストールを実行するための条件が表示されます。

12 **同意する場合は1を押し、同意しない場合は2を押す。**

- 1を押すとメニューが表示されます。
- 2を押すと再インストールを中止します。

再インストールを実行するためには以下の条文に同意していただく必要があります。
(1) 再インストールプログラムは、本プロダクトリカバリーDVD-ROM提供時に指定のパナソニックコンピューターに導入されているソフトウェアの復元または再インストールを行う目的にのみ使用することができます。
(2) プロダクトリカバリーDVD-ROM中の全てのソフトウェアは、取扱説明書に記載のソフトウェア使用許諾書の適用を受けます。
1. はい、上記の条文に同意します。処理を続けます。
2. いいえ、上記の条文には同意しません。処理を中断します。
番号を選択してください。>> _

13 **再インストールの方法を選ぶ。**

● **工場出荷時の設定（パーティションは1つ）にする場合**

Windows

1を押す。

● **パーティションを2つに分割する（OS用とデータ用）場合**

Windows	データ用

2を押してOS（Windows）用パーティションのサイズ（GB単位）を数字で入力し、Enterを押す。

- 0（ゼロ）を入力すると、操作を中止することができます。
- 利用できる最大のサイズから入力した数字を引いた値がデータ用パーティションのサイズになります。（データ用は1 GB以上）
- 機種により、設定できる最大のサイズは異なります。

● **パーティション構成を変更せず、最初のパーティションにWindowsを再インストールする場合**

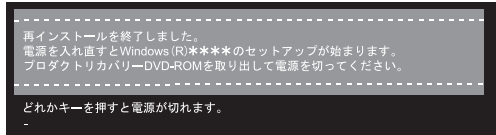
Windows（20GB以上必要）		

3を押す。
この項目は、現在Windows XPをお使いの場合のみ選択可能です。

14 **確認のメッセージが表示されたら、Yを押す。**

- 再インストールが始まります。
- 再インストールの途中で電源を切ったり、Ctrl＋Alt＋Delを押すなどして、再インストールを中止しないでください。Windowsが起動しなくなったり、データが消失して再インストールを実行できなくなったりするおそれがあります。

再インストールOS : Windows (R) XP Professional
ハードディスクのデータはすべてなくなります。
ハードディスクのデータをすべて消去し、Windows を再インストールしますか?
[Y,N]?_

15 **次のメッセージが表示されたら、プロダクトリカバリー DVD-ROMを取り出し、何かキーを押す。**

パソコンの電源が切れます。

16 **手順2と3（➡63ページ）を行い、セットアップユーティリティを工場出荷時の設定に戻す。**

17 **F10を押して、確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、Enterを押す。**

セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。

18 **Windowsのセットアップを行い、ユーザーアカウントを作成する。**

（➡『取扱説明書 準備と設定ガイド』）

19 **セットアップユーティリティを起動して、必要に応じて設定を変更する。**

パスワード、日付、時間を除くすべての設定は、工場出荷時の状態に戻っています。

20 **インターネットに接続できる場合は、[スタート]-[すべてのプログラム]-[Windows Update]をクリックし、Windows Updateを行う。**

メモ

CPRM拡張機能（CPRM Pack）プログラムをWinDVDに組み込んでお使いになっていた場合は、Windowsをセットアップした後、CPRM拡張機能（CPRM Pack）プログラムを保存しておいたメディアを使って再インストールするか、ダウンロードしてください。

本機の廃棄・譲渡時にデータを消去する

ハードディスクデータ消去ユーティリティを利用すれば、内蔵ハードディスクに保存されているすべてのデータやソフトウェアを、復元できないように消去できます。本機を廃棄または譲渡する場合などにご利用ください。

ハードディスクデータ消去ユーティリティは、データを上書きする方法でデータを消去していますが、予期せぬ誤動作あるいは誤操作により完全に消去できない場合があります。また、特殊な機器により読み出される可能性もあります。機密度の高いデータを消去する必要がある場合は、専門業者に消去を依頼してください。また、このユーティリティの使用により生じたお客さまの損害については補償いたしかねます。

データ消去の前に

Windows XP用プロダクトリカバリーDVD-ROMを準備して、次の点を確認してください。

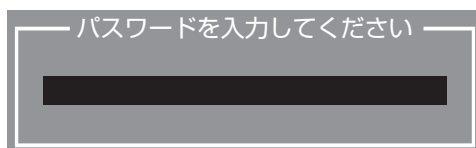
- 必ず、ACアダプターを接続してください。
- データ消去には、30分～6時間かかります（ハードディスクの容量によって消去時間は異なります）。
- 内蔵ハードディスクにのみ有効です。外付けハードディスクには働きません。
- 実行するとハードディスクからは起動しなくなります。
- 損傷しているハードディスクのデータは消去できません。
- パーティションを指定してデータを消去することはできません。

データをすべて消去する

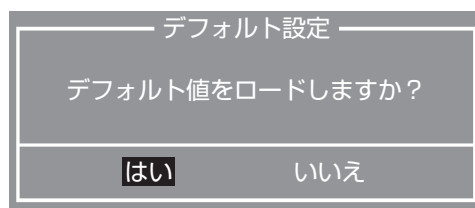
1 ACアダプターを接続する。

2 本機の電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に[F2]または[Del]を押し、セットアップユーティリティを起動する。

- パスワードを設定している場合は、次の画面でスーパーバイザーパスワードを入力し、[Enter]を押してください。

パスワードを入力してください

- ユーザーパスワードでは各項目の設定値を工場出荷時の値（パスワード、システム時間、システム日付を除く）に戻す[F9]は使えません。

3 [F9]を押す。

次の画面で［はい］を選び、[Enter]を押してください。

4 [←]と[→]を使って「メイン」メニューに移動する。

5 [↑]と[↓]を使って［光学ドライブ電源］を選び、[Enter]を押して［オン］を選び、[Enter]を押す。

6 [F10]を押して、確認のメッセージが表示されたら、［はい］を選び、[Enter]を押す。

セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。
パスワードを設定している場合、以降の手順で「パスワードを入力してください」と表示されることがありますので、スーパーバイザーパスワードを入力して、[Enter]を押してください。

7 「Panasonic」起動画面が表示されている間にF2またはDelを押し、セットアップユーティリティを起動する。

8 Windows XP用プロダクトリカバリー DVD-ROMをCD/DVDドライブにセットする。

ディスクカバーが開かない場合は、次の手順を行ってください。

① 「詳細」メニューの[光学ドライブ]を[有効]、「メイン」メニューの[光学ドライブ電源]を[オン]に設定する。

② F10を押し、確認のメッセージが表示されたら[はい]を選び、Enterを押す。

③ 「Panasonic」起動画面が表示されている間にF2またはDelを押し、セットアップユーティリティを起動する。

④ Windows XP用プロダクトリカバリーDVD-ROMをセットする。

9 ←と→を使って「終了」メニューに移動する。

10 ↑と↓を使って[デバイスを指定して起動]の[MATSHITAXXXX]を選び、Enterを押す。

11 「番号を選択してください」というメッセージが表示されたら、2を押して[2.【HDD消去】]を実行する。

0(ゼロ)を押すと、操作を中止することができます。

12 確認のメッセージが表示されたら、Yを押す。

ハードディスクデータ消去ユーティリティが起動します。

(以降の画面はすべて一例です。)

13 「<<<スタートメニュー>>>」でEnterを押す。

```
 ハードディスクデータ消去ユーティリティ Version *.****
                               (C)****-**** パナソニック株式会社
-----------------------------------------------------------
<<<スタートメニュー>>>
 ハードディスクデータ消去ユーティリティはハードディスク上のデータを
 全て上書きすることにより消去します。
 必要なデータはバックアップを作成してください。
 メッセージに従って操作キーを選択してください。
 (次へ:Enterキー, 中止:その他のキー)... _
```

14 消去にかかるおおよその時間など、メッセージの内容を確認してから　　(スペースキー)を押す。

```
 ハードディスクデータ消去ユーティリティ Version *.****
                               (C)****-**** パナソニック株式会社
-----------------------------------------------------------
<<<ドライブリスト>>>
 0:ドライブ:セクター総数    :********(********)
            ディスク容量    :*****MB.

(お知らせ)
  ハードディスクデータ消去ユーティリティがすべてのデータを消去するために
  およそ**分から**分かかります。
  コンピューターがAC電源で動作していることを確認してください。
  ハードディスクデータ消去ユーティリティを実行しますか?
  (はい:スペースキー, いいえ:その他のキー)... _
```

15 メッセージの内容を確認してからEnterを押す。

```
 ハードディスクデータ消去ユーティリティ Version *.****
                               (C)****-**** パナソニック株式会社
-----------------------------------------------------------
<<<ドライブリスト>>>
 0:ドライブ:セクター総数    :********(********)
            ディスク容量    :*****MB.

(お知らせ)
  ハードディスクデータ消去ユーティリティがすべてのデータを消去するために
  およそ**分から**分かかります。
  コンピューターがAC電源で動作していることを確認してください。
  ハードディスクデータ消去ユーティリティを実行しますか?
  (はい:スペースキー, いいえ:その他のキー)...[はい]

(お知らせ)
  ハードディスクデータ消去ユ-ティリティを実行するとデータは元に戻り
  ません。Enterキーを押すとデータ消去を開始します。
  ハードディスクデータ消去ユーティリティを実行しますか?
  (実行:Enterキー, 中止:その他のキー)... _
```

- ハードディスクのデータ消去が開始されます。
- 万一、途中でデータ消去を中断する場合は、Ctrl+Cを押して中断することができますが、すでに消去されたデータは復元されません。

16 「ハードディスクのデータは消去されました」というメッセージが表示されたら、プロダクトリカバリー DVD-ROMを取り出して、何かキーを押す。

- パソコンの電源が切れます。
- 何らかの原因で完了できなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。

本機の廃棄・譲渡時にデータを消去する

パソコンの廃棄・譲渡時におけるハードディスク内のデータ消去について

データ流出のトラブルを回避するためにはハードディスク内に記録されたすべてのデータを、お客さまの責任において消去することが非常に重要です。

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのパソコンの中にあるハードディスクという記憶装置に、お客さまの重要なデータが記録されています。

したがって、そのパソコンを廃棄または譲渡するときには、これらの重要なデータを消去することが必要です。

ところが、このハードディスク内に記録されたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。
「データを消去する」という場合、一般には次のような操作を行います。

- 「削除」操作を行う
- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「ごみ箱を空にする」機能を使ってデータを消す
- ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- 再インストールをして、工場出荷状態に戻す

しかし、これらの操作を行っても、ハードディスク内に記録されたファイルの管理情報が変更されてデータを呼び出す処理ができなくなるだけで、本来のデータは残っているという状態にあります。

したがいまして、データ回復のための特殊なソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある人によって、このパソコンのハードディスク内の重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス（ともに有償）を利用するか、ハードディスク内のデータを金槌や強い磁気によって物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

ハードディスク内にお客さまがインストールした市販のソフトウェアを削除せずに本機を譲渡すると、そのソフトウェアのライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますので、ご注意ください。

エラーコードが表示されたら

電源を入れたとき、次のエラーコードやメッセージが表示された場合は、対処の説明に従ってください。
それでも解決できない場合、またはこれら以外のエラーコードやメッセージが表示された場合は、ご相談窓口にご相談ください。

エラーコード/メッセージ	対 処
システムCMOS値が正しくありません。 システムCMOSのチェックサムが正しくありません。	セットアップユーティリティの設定内容を保持しているメモリーの内容が正しくありません。これは、プログラムなどの意図しない動作により、内容が変更された場合に起こるエラーです。 ●セットアップユーティリティで、デフォルト設定にした後、必要に応じて適切な値に設定し直してください。 ●それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵バックアップバッテリーが消耗している可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
日付と時刻の設定が正しくありません。01/01/2008に設定しました。	日付と時刻の設定が正しくありません。 ●セットアップユーティリティの「メイン」メニューで、日付と時刻を正しく設定してください。 ●それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵バックアップバッテリーが消耗している可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
エラー ハードディスク保護により、アクセスが禁止されています。 セットアップユーティリティを起動し、正しく設定し直してください。	ハードディスクへのアクセスが禁止されています。 ●セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで、[ハードディスク保護]を[無効]に設定してください。
< F2 >キーを押すとセットアップを起動します。	●エラー内容をメモした後、F2またはDelを押してセットアップユーティリティを起動してください。設定を確認し、必要に応じて適切な値に設定し直してください。
Reboot and Select proper Boot device or Insert Boot Media in selected Boot device and press a key Disk error Press any key to restart	起動しようとしたフロッピーディスクやハードディスクにOS が正しくインストールされていません。 ●フロッピーディスクドライブに起動できないフロッピーディスクがセットされている場合は、取り出してください。 ●ハードディスクから起動できない場合は、セットアップユーティリティの「情報」メニューでハードディスクが正しく認識されているか確認してください。 ・認識されている場合(「xxx GB」と表示)は、再インストールを行ってください。 ・認識されていない場合(「なし」と表示)は、ご相談窓口にご相談ください。 ●USB ポートに機器を接続している場合は、取り外すか、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで[レガシー USB]を[無効]に設定してください。
増設RAMモジュールエラーです。	●RAMモジュールが正しく取り付けられていません。電源を切り、RAMモジュールが推奨品であることを確認し、正しく取り付け直してください。
標準RAMのエラーです。	●ご相談窓口にご相談ください。
ファンエラーです。	●ファンが正しく動作していません。修理窓口へ連絡してください。

セットアップユーティリティの起動方法：➡38ページ

フィルタリングについて

青少年によるインターネット上の有害サイトへのアクセス防止について

インターネットを利用すると世界中の情報にアクセスすることができますが、中には違法な情報や有害な情報も存在します。次のような情報は、青少年の健全な発育を妨げるだけでなく、青少年による犯罪や財産権侵害、人権侵害などの問題を助長していると見られています。

- アダルトサイト（ポルノ画像や風俗情報）
- 出会い系サイト
- 暴力残虐画像を集めたサイト
- 他人の悪口やひぼう中傷を載せたサイト
- 犯罪を助長するようなサイト
- 毒物や麻薬情報を載せたサイト

情報を発信する人の表現の自由を奪うことになるため、上述のようなサイトも公開をやめさせることはできません。また、日本では非合法でも、そのWebサイトを発信している国では合法なものもあります。

有害なインターネット上の情報の受信を自動的に制限する技術が、「フィルタリング」です。これは、情報発信者の表現の自由を尊重しつつ、有害な情報の受信を制限できる有効な手段です。特に青少年がインターネットを利用する家庭では、パソコンにフィルタリング機能を持つソフトウェアを購入しインストールするか、インターネット事業者のフィルタリング・サービスの利用をお勧めします。

「フィルタリング」は、ソフトウェアあるいはサービス事業者によって、「有害サイトブロック」「Webフィルター」「インターネット利用管理」などと表現される場合もあり、機能や利用条件が異なります。ソフトウェア提供会社あるいは、お客さまが契約されているインターネット事業者に、事前に確認されることをお勧めします。

フィルタリングに関しては、社団法人　電子情報技術産業協会のユーザー向け啓発資料「パソコン・サポートとつきあう方法」からも入手できます。

http://it.jeita.or.jp/perinfo/report/pcsupport/index.html

仕様 日本国内専用

本製品（付属品を含む）は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。

●本体仕様

<table>
<tr><th colspan="2">品番</th><th>CF-W8EWYAAP</th><th>CF-W8EWAAAP</th><th>CF-W8EWBAAP</th></tr>
<tr><td colspan="2">CPU/
2次キャッシュメモリー</td><td colspan="3">インテル® Core™2 Duo プロセッサー 超低電圧★版SU9300、オンダイL2キャッシュ -3 MB※1、動作周波数 1.20 GHz、フロントサイド・バス800 MHz</td></tr>
<tr><td colspan="2">チップセット</td><td colspan="3">モバイルインテル® GS45 Expressチップセット</td></tr>
<tr><td colspan="2">メインメモリー</td><td colspan="3">標準1 GB※1 DDR2 SDRAM（最大3 GB※1）</td></tr>
<tr><td colspan="2">空きスロット数</td><td colspan="3">1</td></tr>
<tr><td colspan="2">ビデオメモリー</td><td colspan="3">最大285 MB※1/1GBのメモリーを増設した場合は最大797 MB※1/2GBのメモリーを増設した場合は最大1309 MB※1（メインメモリーと共用）※2
（Windows XPの場合：512 MB※1/メモリー増設時は最大1024 MB※1（メインメモリーと共用）※2）</td></tr>
<tr><td colspan="2">インテル® ターボ・メモリー</td><td colspan="2">搭載されていません</td><td>2 GB※1（Windows XPの場合は動作しません➡76ページ）</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">ハードディスクドライブ ※3</td><td colspan="2">250 GB（Serial ATA）</td><td>320 GB（Serial ATA）</td></tr>
<tr><td colspan="3">上記容量のうち約6 GBは修復用領域（リカバリー用データ領域を含む）として使用（ユーザー使用不可）
（Windows XPの場合は修復用領域はありません）</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">CD/DVDドライブ</td><td colspan="3">スーパーマルチドライブ内蔵</td></tr>
<tr><td colspan="3">バッファーアンダーランエラー防止機能（SmoothLink）搭載</td></tr>
<tr><td rowspan="2">連続データ転送速度※4※5</td><td>再生</td><td colspan="3">DVD-RAM※7：3倍速（4.7GB※3）、DVD-R※8：最大8倍速、DVD-R DL：最大4倍速、DVD-RW：最大4倍速、DVD-ROM※9：最大8倍速、+R：最大8倍速、+R DL：最大4倍速、+RW：最大4倍速、CD-ROM※9：最大24倍速、CD-R※9：最大24倍速、CD-RW：最大24倍速</td></tr>
<tr><td>記録※6</td><td colspan="3">DVD-RAM※7 書き換え：2倍速/2～3倍速（4.7GB※3）、DVD-R書き込み：1倍速/2倍速/2～4倍速/2～8倍速、DVD-RW書き換え：1倍速/2倍速/2～4倍速、+R書き込み：2.4倍速/2.4～4倍速/2.4～8倍速、+RW※10 書き換え：2.4倍速/2.4～4倍速、CD-R書き込み：4倍速/8倍速/8～12倍速/8～16倍速、CD-RW書き換え：4倍速、High-Speed CD-RW書き換え：4倍速/8倍速/10倍速</td></tr>
<tr><td rowspan="2">対応ディスク、および対応フォーマット※5</td><td>再生</td><td colspan="3">DVD-ROM（1層、2層）、DVD-Video、DVD-R※8（1.4GB、4.7GB）※3、DVD-R DL（8.5GB）※3、DVD-RW（Ver.1.1/1.2　1.4GB、2.8GB、4.7GB、9.4GB）※3、DVD-RAM※7（1.4GB、2.8GB、4.7GB、9.4GB）※3、+R（4.7GB）※3、+R DL（8.5GB）※3、+RW（4.7GB）※3、CD-Audio、CD-ROM（XA対応）、CD-R、Photo CD（マルチセッション対応）、Video CD、CD EXTRA、CD-RW、CD-TEXT</td></tr>
<tr><td>記録</td><td colspan="3">DVD-RAM※7（1.4GB、2.8GB、4.7GB、9.4GB）※3、DVD-R（1.4GB、4.7GB for General）※3、DVD-RW（Ver.1.1/1.2　1.4GB、2.8GB、4.7GB、9.4GB）※3、+R（4.7GB）※3、+RW※10（4.7GB）※3、CD-R、CD-RW</td></tr>
<tr><td colspan="2">表示方式</td><td colspan="3">12.1 型TFT カラー液晶XGA（1024 × 768 ドット）</td></tr>
<tr><td colspan="2">内部LCD表示</td><td colspan="3">1024×768ドット：約1677万色※11</td></tr>
<tr><td colspan="2">外部ディスプレイ表示※12</td><td colspan="3">800 × 600 ドット、1024 × 768 ドット、1280 × 768 ドット、1280 × 1024 ドット、1400 × 1050 ドット、1440 × 900 ドット、1680 × 1050 ドット、1600 × 1200 ドット、1920 × 1080 ドット、1920 × 1200 ドット：約1677 万色</td></tr>
<tr><td colspan="2">本体＋外部ディスプレイ同時表示※12</td><td colspan="3">800 × 600ドット、1024 × 768ドット、約1677万色※11</td></tr>
<tr><td colspan="2">無線LAN</td><td colspan="3">インテル® WiFi Link 5100 IEEE802.11a（W52/W53/W56）/b/g準拠、IEEE802.11nドラフト2.0準拠※13（➡75ページ）</td></tr>
<tr><td colspan="2">LAN※14</td><td colspan="3">1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T</td></tr>
<tr><td colspan="2">モデム※15</td><td colspan="3">データ：56 kbps（V.90）　FAX：14.4 kbps/ボイス非対応</td></tr>
<tr><td colspan="2">サウンド機能</td><td colspan="3">PCM音源（24ビットステレオ（Windows XPの場合：16ビットステレオ））、インテル® High Definition Audio準拠、モノラルスピーカー</td></tr>
<tr><td colspan="2">セキュリティチップ</td><td colspan="3">TPM（TCG V1.2準拠）※16</td></tr>
</table>

仕様

項目		仕様
カードスロット		PCカードスロット（TYPE Ⅱ）×1スロット（CardBus対応、許容電流3.3 V：400 mA、5 V：400 mA） SDメモリーカードスロット※17×1スロット（SDHCメモリーカード対応/著作権保護技術対応）
拡張メモリースロット※18		DDR2 200ピンSO-DIMM×1スロット（1.8 V/PC2-5300/DDR2 SDRAM）
インターフェース		USBポート×3（USB2.0×3）※19、モデムコネクター（RJ-11）※15、LANコネクター（RJ-45）※14、外部ディスプレイコネクター（アナログRGB ミニDsub 15ピン）、ミニポートリプリケーターコネクター（専用50ピン）、マイク入力端子（ステレオミニジャックM3（プラグインパワー対応））※20、オーディオ出力端子（ステレオミニジャックM3）
キーボード/ポインティングデバイス		OADG 準拠キーボード（85 キー）、キーピッチ：19 mm（横）/ 16 mm（縦）（一部キーを除く）/ホイールパッド
電源		ACアダプターまたはバッテリーパック
ACアダプター※21		入力：AC 100 V ～ 240 V、50 Hz/60 Hz、出力：DC 16 V、3.75 A、電源コードは100 V専用
バッテリーパック		10.8 V（Li-ion）、公称容量 5.8 Ah/定格容量 5.4 Ah
	バッテリー駆動時間※22	約11時間（バッテリーのエコノミーモード(ECO)無効時） 別売りの軽量バッテリーパック（品番：CF-VZSU52AJS（シルバー））を取り付けた場合は、約5.5時間（バッテリーのエコノミーモード(ECO)無効時）
	バッテリー充電時間※23	約5時間（電源オフ時）/約6.5時間（電源オン時） 別売りの軽量バッテリーパック（品番：CF-VZSU52AJS（シルバー））を取り付けた場合は、約4時間（電源オフ時）/約5時間（電源オン時）
消費電力/エネルギー消費効率※24		最大約60 W※25/2007年度基準　l区分0.00030 （社）電子情報技術産業協会 情報処理機器 高調波電流抑制対策実行計画書に基づく定格入力電力値：36 W
外形寸法		幅272 mm ×奥行き214.3 mm ×高さ24.9 mm / 45.3 mm（前部/後部）突起部除く
質量※26		約1.255 kg
使用環境条件		温度：5 ℃～ 35 ℃ 湿度：30 % RH ～ 80 % RH（結露なきこと）
OS※27	ベースOS	Windows Vista® Business with Service Pack 1 正規版（Windows® XPダウングレードサービス済み）
	インストールOS	Microsoft® Windows® XP Professional 正規版 Service Pack2　セキュリティ強化機能搭載
導入済みソフトウェア※27（Windows XPの場合：➡73ページ）		Microsoft® Internet Explorer 7.0/緑のgoo スティック/ネットセレクター 2/無線切り替えユーティリティ/セキュリティ設定ユーティリティ/マカフィー・インターネットセキュリティスイートベーシックエディション※28/Infineon TPM Professional Package V3.0 SP2HF2※29/Adobe Reader/バッテリー残量表示補正ユーティリティ/ホイールパッドユーティリティ/NumLockお知らせ/Hotkey設定/Panasonic電源プラン拡張ユーティリティ/Roxio Creator LJB/Microsoft® Windows® Media Player 11/ MyDVD/WinDVD™ 8（OEM版）CPRM対応※30/Microsoft® Windows® Movie Maker 6.0/DVD-MovieAlbumSE 4.5※31/ズームビューアー/オプティカルディスクドライブ文字変更ユーティリティ/PC情報ポップアップ/PC情報ビューアー/セットアップユーティリティ/PC-Diagnosticユーティリティ※32/ハードディスクデータ消去ユーティリティ※33/DirectX 10/ Microsoft® .NET Framework 3.0
		下記のソフトウェアをお使いになる場合は、セットアップが必要です。次の手順を行った後、画面の指示に従ってください。 • Fn Ctrl機能入れ換えユーティリティ：「C:¥util¥setfnctrl」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。 • USB キーボードヘルパー：「C:¥util¥ukbhelp」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。 • USB マウスヘルパー：「C:¥util¥umouhelp」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。 • ディスプレイヘルパー：「C:¥util¥disphelp」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。 • Wireless Manager mobile edition 5.0※34：デスクトップの「Wireless Manager mobile editionのセットアップ」アイコンをダブルクリックします。

● Windows XPの場合の導入済みソフトウェア[※27]

Microsoft® Internet Explorer 6 Service Pack 2/ネットセレクター/無線切り替えユーティリティ/Infineon TPM Professional Package V3.0 SP2HF2[※29]/Adobe Reader/エコノミーモード（ECO）切り替えユーティリティ/バッテリー残量表示補正ユーティリティ/ホイールパッドユーティリティ/Hotkey設定/オプティカルディスクドライブ省電力ユーティリティ/省電力設定ユーティリティ/Roxio Creator LJB/ Microsoft® Windows® Media Player 10/MyDVD/WinDVD™ 8（OEM版）CPRM対応[※30]/Microsoft® Windows® Movie Maker 2.1/DVD-MovieAlbumSE 4.5[※31]/オプティカルディスクドライブ文字変更ユーティリティ/ファン制御ユーティリティ/PC情報ポップアップ/PC情報ビューアー/フォントサイズ拡大ユーティリティ/DirectX 9.0c/Microsoft® .NET Framework 1.1 SP1/2.0/セットアップユーティリティ/PC-Diagnosticユーティリティ[※32]/ハードディスクデータ消去ユーティリティ[※33]

下記のソフトウェアをお使いになる場合は、セットアップが必要です。下記フォルダー内のsetup.exeまたは下記アイコンをダブルクリックして画面に従ってください。

- セキュリティ設定ユーティリティ：C:¥util¥secutilフォルダー
- NumLockお知らせ：C:¥util¥numlkntfフォルダー
  テンキーモードに設定されていても、このソフトウェアをセットアップしていなければ「NumLockお知らせ」画面は表示されません。
- Fn Ctrl機能入れ換えユーティリティ：C:¥util¥setfnctrlフォルダー
- USBキーボードヘルパー：C:¥util¥ukbhelpフォルダー
- USBマウスヘルパー：C:¥util¥umouhelpフォルダー
- ディスプレイヘルパー：C:¥util¥disphelpフォルダー
- Wireless Manager mobile edition 5.0 [※34]：デスクトップの「Wireless Manager mobile editionのセットアップ」アイコン
- ズームビューアー：C:¥util¥loupeフォルダー
- 無線接続無効ユーティリティ：C:¥util¥wdisableフォルダー

★　既存のインテル低電圧版に比べて、さらに電圧レベルを低下。
※1　1 MB=1,048,576バイト。1 GB＝1,073,741,824バイト。
※2　本機の動作状況により、メインメモリーの一部が自動的に割り当てられます。サイズを設定しておくことはできません。ビデオメモリーのサイズはOSにより割り当てられます。
※3　1 GB=1,000,000,000バイト。OSまたは一部のアプリケーションソフトでは、これよりも小さな数値でGB表示される場合があります。ハードディスクのユーティリティなど使用時はNTFS対応のものをご使用ください。
※4　データ転送速度は当社測定値。DVDの1倍速の転送速度は1,350 KB/秒。CDの1倍速の転送速度は150 KB/秒。
※5　CD-R、CD-RW、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RWは、書き込み状態や記録形式によっては、性能が保証できない場合があります。また、ご使用のディスク・設定・環境によっては、再生できない場合があります。DVD-R DL/+R DL（2層ディスク）およびUltra-Speed CD-RWの書き込みには対応していません。
※6　使用するディスクによって、書き込み速度が遅くなることがあります。
※7　DVD-RAMは、カートリッジなしのディスクまたはカートリッジから取り出せるディスク（Type2、Type4）のみ使用できます。
※8　DVD-Rは、4.7 GB（for General）の再生に対応。DVD-R（for Authoring）の再生については、ディスクアットワンス記録したものに対応しています。
※9　偏重心のディスク（重心が中央にないディスク）を使用すると、振動が大きくなり速度が遅くなることがあります。
※10　High Speed +RWの書き込み/書き換えには対応していません。
※11　グラフィックアクセラレーターのディザリング機能を使用して約1677万色表示を実現しています。
※12　接続する外部ディスプレイによっては表示できない場合があります。
※13　本機と通信するには、W52/W53/W56のいずれかに対応した無線LANアクセスポイントをお使いください。
IEEE802.11nドラフト2.0準拠モードで通信するには、本モードに対応した無線LANアクセスポイントが必要です。また、本機および無線LANアクセスポイントの暗号化設定をAESに設定する必要があります。詳しくは無線LANアクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。
※14　コネクターの形状によっては使用できないものがあります。伝送速度は、理論上の最大値であり、実際のデータ伝送速度を示すものではありません。使用環境により変動します。
※15　モデムは一般電話回線専用です。56 kbpsはデータ受信時の理論値です。データ送信時は33.6 kbpsが最大速度です。
※16　お使いになるにはInfineon TPM Professional Packageをセットアップする必要があります
（➡『操作マニュアル』「（セキュリティ）」の「データを暗号化する」）。
※17　High Speed Modeに対応。Windows Vistaの場合はHigh SpeedメモリーカードによるWindows Ready Boost機能に対応しています。
容量32 GBまでの当社製SDメモリーカードおよびSDHCメモリーカードの動作を確認済み。
すべてのSD機器との動作を保証するものではありません。
※18　従来の機種（CF-T5やCF-W5シリーズ）で採用していた172ピンマイクロDIMMは使用できません。
※19　USB対応のすべての周辺機器の動作を保証するものではありません。
※20　Windows Vistaの場合はコンデンサー型ステレオマイクロホンをお使いください。
※21　本製品は一般家庭用の電源コードを使用するため、AC100 Vのコンセントに接続して使用してください。（➡8ページ）

※22 「JEITAバッテリ動作時間測定法（Ver.1.0）」による駆動時間。バッテリー駆動時間は動作環境・液晶の輝度・システム設定により変動します。バッテリーのエコノミーモード（ECO）有効に設定しているときの駆動時間は、無効時の約8割になります。
※23 バッテリー充電時間は動作環境・システム設定により変動します。完全放電したバッテリーを充電すると時間がかかる場合があります。
※24 エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。
※25 パソコンの電源が切れていて、バッテリーが満充電や充電していないときはパソコン本体で約0.7 Wの電力を消費します。スタンバイ状態/休止状態でのバッテリー残量保持期間は、「電源を入れる/切る」をご覧ください（➡27ページ）。
ACアダプターをパソコン本体に接続していなくても、電源コンセントに接続したままにしていると、ACアダプター単体で最大0.3 Wの電力を消費します。
※26 平均値。各製品で質量が異なる場合があります。
※27 本機は、Windows Vista Businessモデルをご購入されたお客さまの権利であるOSのダウングレード権の行使を、当社がお客さまに代わってWindows XP Professionalをインストールしてご提供するモデルです。Windows XPを再インストールする場合は、付属のWindows XP用プロダクトリカバリー DVD-ROMをお使いください。
お買い上げ時にインストールされているOS、ハードディスクリカバリー機能または本機に付属のプロダクトリカバリー DVD-ROMを使ってインストールしたOSのみサポートします。
※28 デスクトップの「マカフィーウイルススキャンのセットアップ」をダブルクリックしてセットアップしてください。
マカフィー・ウイルススキャンのみが搭載されています。その他の機能はインターネットからダウンロードしてご利用いただけます。
ご利用前にユーザー登録が必要です。ユーザー登録をすると、DAT（ウイルス定義ファイル）のアップデートサービスやその他ユーザーサポートがご利用いただけます。90日の試用期間終了後、引き続きご利用になる場合は、表示されたメッセージに従って、有償契約をお申し込みください。
※29 お使いになるにはセットアップが必要です（➡『操作マニュアル』「（セキュリティ）」の「データを暗号化する」）。
※30 CPRMで録画されたメディア（DVD-RAM、DVD-RおよびDVD-RW）を再生する場合は、WinDVDにCPRM拡張機能（CPRM Pack）プログラムを組み込んでください（➡『操作マニュアル』「（CD/DVDドライブ）」の「DVD-Videoを見る(WinDVD)」）。
DVD-Audioの再生には対応していません。
※31 VRモードでDVD-RAMに録画された映像を編集するためのアプリケーションソフトです。ビデオキャプチャー機能およびDolby Digitalのエンコード機能は入っておりません。CPRMで録画されたディスクの再生・編集はできません。
※32 起動方法は「ハードウェアを診断する」をご覧ください。この機能には（株）ウルトラエックスの技術を使用しています。
※33 修復用領域（WinRE）上で実行するユーティリティ（実行できない場合またはWindows XPの場合は、プロダクトリカバリー DVD-ROMから実行してください）。
※34 ワイヤレス投写用アプリケーションソフト（当社製液晶プロジェクター TH-LB20NT/TH-LB30NT/TH-LB50NT/TH-LB55NT/TH-LB60NT/PT-FW100NT/PT-F100NT/PT-F200NT/PT-LB51NT/PT-LB75NT/PT-LB80NT/PT-LW80NTとワイヤレス接続するときに使います）。詳しくは『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「プロジェクターを使う」をご覧ください。

●無線LAN

データ転送速度（規格値）※35	IEEE802.11a：　54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps IEEE802.11b：　11/5.5/2/1 Mbps IEEE802.11g：　54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps IEEE802.11n 送信 20MHz時：　6.5/13/19.5/26/39/52/58.5/65 Mbps 20MHz、Short GI有効時：　7.2/14.4/21.7/28.9/43.3/57.8/65/72.2 Mbps 40MHz時：　13.5/27/40.5/54/81/108/121.5/135 Mbps 40MHz、Short GI有効時：　15/30/45/60/90/120/135/150 Mbps 受信 20MHz時：　13/26/39/52/78/104/117/130 Mbps 20MHz、Short GI有効時：　14.4/28.9/43.3/57.8/86.7/115.6/130/144.4 Mbps 40MHz時：　27/54/81/108/162/216/243/270 Mbps 40MHz、Short GI有効時：　30/60/90/120/180/240/270/300 Mbps
準拠規格	ARIB STD-T66/ARIB STD-T71 IEEE802.11a（W52/W53/W56）、IEEE802.11b、IEEE802.11g、 IEEE802.11nドラフト2.0※36（無線LAN標準プロトコル）
伝送方式	OFDM 方式、DS SS方式
有効距離※37	IEEE802.11a：見通し約30 m IEEE802.11b/g/nドラフト2.0：見通し約50 m（アクセスポイントとの通信時）
使用無線チャンネル	インフラストラクチャ通信モード： IEEE802.11a/nドラフト2.0：　36/40/44/48チャンネル（W52） 52/56/60/64チャンネル（W53） 100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140チャンネル（W56） IEEE802.11b/g/nドラフト2.0：1 ～ 13チャンネル ad hoc通信モード： IEEE802.11b/g：　1 ～ 11チャンネル
RF周波数帯域	2.4 GHz帯域（2.4 GHz ～ 2.4835 GHz） 5 GHz帯域（5.15 GHz ～ 5.35 GHz、5.47 GHz ～ 5.725 GHz）※38

IEEE802.11b/g
IEEE802.11a
J52 W52 W53 W56

※35 無線LAN規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。表示の数値は、本機と同等の構成を持った機器と通信を行ったときの理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
※36 IEEE802.11nドラフト2.0準拠の表記は、他のIEEE802.11nドラフト対応製品との接続性を保証するものではありません。
※37 有効距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーションソフト、OSなどの使用条件によって異なります。
※38 IEEE802.11a（5.2GHz/5.3GHz帯無線LAN/W52、W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。無線LANの電源がオンの状態で本機を屋外で使用する場合は、あらかじめIEEE802.11aを無効に設定しておいてください。

●本機のモデムは次の国または地域の規格に準拠しています。
アイスランド、アイルランド、アメリカ、アラブ首長国連邦、アルゼンチン、アンドラ、イギリス、イスラエル、イタリア、インド、インドネシア、ウクライナ、ウルグアイ、エクアドル、エストニア、エジプト、オーストラリア、オーストリア、オランダ、カナダ、韓国、キプロス、ギリシャ、クウェート、クロアチア、サウジアラビア、サンマリノ、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、スリランカ、スロバキア、スロベニア、台湾、チェコ、チリ、中国、デンマーク、ドイツ、トルコ、日本、ニュージーランド、ノルウェー、パキスタン、バチカン市国、パラグアイ、ハンガリー、フィリピン、フィンランド、ブラジル、フランス、ブルガリア、ブルネイ、ペルー、ベルギー、ベネズエラ、ポーランド、ポルトガル、ホンジュラス、香港、マルタ、マレーシア、南アフリカ共和国、モナコ、モロッコ、ラトビア、リトアニア、リヒテンシュタイン、ルーマニア、ルクセンブルク、ロシア

インテル® ターボ・メモリーについて(CF-W8EWBAAPのみ)

●インテル® ターボ・メモリーとは
内蔵の高速フラッシュメモリーのことで、Windows Vistaをお使いの場合は頻繁に使うデータなどがこのメモリーに記憶されます。これにより、ハードディスクへのアクセスが減るため、パソコン全体の処理速度が効率化します(お使いの使用条件により効果は異なります)。Windows XP上では動作しません。また、デバイスマネージャーに不明なデバイスが表示されます。お使いになる場合は、Windows Vistaをインストールしてください。

●インテル® ターボ・メモリー ダッシュボード機能について
[Intel® Turbo Memory Dashboard]を使うと、使用頻度の高いアプリケーションソフトの起動やファイルの表示を高速化することができます。

• 起動方法

①Windows Vista上で、(スタート) - [すべてのプログラム] - [Intel® Turbo Memory] - [Intel® Turbo Memory Dashboard]をクリックする。
または、デスクトップのをダブルクリックする。

②「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックする。
標準ユーザーでログオンしている場合は、管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力して[OK]をクリックします。

以降、画面に従って高速化するアプリケーションソフトなどを設定してください。
使い方について詳しくは、「Intel(R) Turbo Memoryダッシュボード」画面右下のをクリックしてIntel(R) Turbo Memory Dashboardのヘルプをご覧ください。

●インテル® ターボ・メモリーの有効/無効を確認する

① Windows Vistaをインストールする(➡ 付属の『Windows Vistaをお使いになる場合』)。

② (スタート) - [すべてのプログラム] - [Intel® Turbo Memory] - [Intel® Turbo Memory コンソール]をクリックする。

③「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックする。
標準ユーザーでログオンしている場合は、管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力して[OK]をクリックします。

④「Intel(R) Turbo Memoryコンソール」画面で、[Windows ReadyDrive]の[値]を確認する([有効]または[無効]と表示されます)。

・ Windowsの起動直後は、[有効]に設定されている場合でも[有効]と表示されない場合があります。その場合は、しばらく待ってから再度確認してください。

・ 本機では、[Windows ReadyBoost]を有効に設定することはできません。

PC情報ポップアップについて(CF-W8EWBAAPのみ)

お買い上げ時の設定では、自動表示機能を有効にするための確認画面で[はい]をクリックしても、ハードディスクの使い方に関する情報を自動的に取得してお知らせする機能は有効になりません([HDDの使い方のお知らせがX件あります]という小ポップアップ画面は自動的に表示されません)。
ハードディスクの使い方に関する情報があるか定期的にチェックする場合は、画面右下のタスクトレイの、またはを右クリックし、[設定]をクリックして[HDDの使い方]の[自動チェックする]に設定してください。

ソフトウェア使用許諾書

第１条	権　　利	お客さまは、本ソフトウェア（パソコン本体に内蔵のハードディスク、付属のマニュアルやCD-ROM/DVD-ROMなどに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、特許権、著作権またはその他一切の権利は弊社が所有するものであり、お客さまに移転するものではありません。
第２条	第三者の使用	お客さまは、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。
第３条	コピーの制限	本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）を目的とした１回に限定されます。
第４条	使用パソコン	本ソフトウェアは、本パソコン１台での使用とし、他のパソコンで使用することはできません。
第５条	解析、変更または改造	本ソフトウェアの解析、変更または改造などを行わないでください。お客さまの解析、変更または改造により、万一何らかの欠陥またはお客さまに対する損害が生じたとしても弊社および販売店などは一切の保証・責任を負いません。
第６条	アフターサービス	お客さまが使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせくだされば、お問い合わせの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。
第７条	免　　責	本ソフトウェアに関する弊社および販売店などの責任は、上記第６条に限ります。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客さまの損害および第三者からのお客さまに対する請求については、弊社および販売店などに故意または重過失がない限り、弊社および販売店などはその責任を負いません。
第８条	合意管轄	本ソフトウェアの使用に関して、訴訟の必要が生じた場合、お客さまおよび弊社は弊社の本社所在地を管轄する裁判所に対してのみ訴えを提起することができるものとします。
第９条	準拠法	本ソフトウェアの使用はあらゆる面において日本国の法律に支配され、かつそれに従って解釈されるものとします。
第10条	輸出管理	お客さまが本ソフトウェアを日本国外に持ち出される場合、国内外の輸出管理に関連する法規を順守してください。

修理依頼表

（この用紙をコピーしてご依頼内容をご記入のうえ、保証書とともに、修理されるパソコンに添付していただきますようお願いいたします。）

日ごろはパナソニック製品をご愛顧いただき、まことにありがとうございます。
修理のためにお客さまの商品をお預かりさせていただくにあたり、次の内容についてご承諾のうえ、必要事項のご記入をお願いいたします。

「パソコンの修理をご要望されるお客さまへのお願い」

1. データをバックアップのうえ消去してください ※障害により操作できない場合は、そのままお預かりします。

お客さまよりお預かりいたしますパソコンの取り扱いには細心の注意をしておりますが、ハードディスク内にデータが残っていた場合、運送途中、もしくは弊社での修理のためにハードディスク内のデータが消えることがあります。また、状況によっては、パソコン運送中におけるハードディスク内のデータ紛失・漏えいなどが生じることも考えられます。このような場合、弊社は一切の責任を負うことはできませんので、あらかじめご了承いただきますようお願いいたします。
したがいまして、常日ごろから定期的にハードディスク内のデータのバックアップをお取りいただきますとともに、修理に出される前には万一に備え、お客さまご自身にて必要なデータのバックアップをお取りいただいたうえで消去することをお願いいたします。
内蔵セキュリティチップ（TPM）をお使いの場合は、『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』をご覧ください。

2. ハードディスクの初期化についてご確認ください

お預かりいたしますパソコンの故障状況によりましては、修理のためハードディスクを初期化することが必要になる場合があります。この初期化について、次のとおり、お客さまのご同意の確認をさせていただきますので、ご記入いただきますようご協力をお願いいたします。
なお、初期化により、ハードディスク内に記録されているお客さまのすべてのデータおよびソフトウェアが消去され、Windows XPダウングレードサービス済みの状態になりますことをご了承ください。

3. パスワードを解除しておいてください

症状を確認することができるように、起動時のパスワードとハードディスク保護を無効にしておいてください。

ご依頼日:20　　年　　月　　日

フリガナ お名前		電話番号　（　　）　　－	
		FAX番号　（　　）　　－	
ご住所	〒		
商品品番	（製造番号:　　　）	お買い求め年月日	年　　月　　日
お買い求めの販売店名		電話番号　（　　）　　－	

●故障内容を教えてください:以下に✓を入れてください
□起動しない　□画面が表示されない　□エラー画面が表示される　□その他

●具体的な故障内容をご記入ください
①どのような症状ですか（できるだけ詳しくご記入ください）

②その症状はどんな操作をしたときに起こりますか

③症状の発生頻度を教えてください:以下に✓を入れてください
□常時　□日に数回　□週に数回　□不定期に　□過去に発生した

●ハードディスク内のデータのバックアップおよびそのデータの消去はお済みですか:以下に✓を入れてください
□実施した　□実施していない（上記のお願い事項1.をご確認ください）

●ハードディスクの初期化について:以下に✓を入れてください
□同意する　□同意しない（修理することができず、そのままご返却させていただく場合があります）

●有償修理のお客さまへ(無料修理のお客さまは記入不要です)
修理限度額:以下に✓を入れてください
□なし　□3万円（税込み）以下　□5万円（税込み）以下　□8万円（税込み）以下　□____万円（税込み）以下

ハードディスク内のデータについて
【パソコンの障害やお客さまにてハードディスク内のデータ消去ができない場合に適応】
パソコンの修理を行う際、症状確認・解析などでハードディスク内のデータファイルを必要最低限の範囲で開くことや、ハードディスクを交換することがございます。これらハードディスク内のデータはお客さまの秘密情報として適切な管理を行い、第三者に開示、漏えい、公表することはございません。

- Microsoftとそのロゴ、Windows、Windows Vista、Windowsロゴ、Outlookは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Coreは、米国Intel Corporationの商標または登録商標です。
- SDHCロゴは商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Adobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- McAfee、VirusScanおよびマカフィーは米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の登録商標です。
- Corel、Corelロゴ、Ulead、Uleadロゴ、InterVideo、InterVideoロゴ、WinDVDはCorel Corporation、またはその子会社の商標または登録商標です。
- SONICとRoxioは米国Sonic Solutionsの登録商標です。Roxio、SonicおよびMyDVDは米国Sonic Solutionsの商標または登録商標です（その他の国の商標または登録商標である場合があります）。
- SmoothLinkは、パナソニック株式会社の商標です。
- ホイールパッドは、パナソニック株式会社の登録商標です。

重要なお知らせ

- お客さまの使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本機は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命にかかわる機器／装置／システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器／装置／システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
- お客さままたは第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気などのノイズの影響を受けたとき、または故障／修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータなどが変化／消失するおそれがあります。大切なデータおよびソフトウェアを思わぬトラブルから守るために、「使用上のお願い」（➡11 ～ 17ページ）の内容に注意してください。

- 本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
- 落丁、乱丁はお取り換えします。
- 本書のサンプルで使われている氏名、住所などは架空のものです。
- 本書のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本装置は、社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じる場合があります。（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）

日本国内で無線LANをお使いになる場合のお願い
この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえ、ご相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えばパーティションの設置など）についてご相談ください。
3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、ご相談窓口にお問い合わせください。

この機器が、2.4 GHz周波数帯（2400から2483.5 MHz）を使用する直接拡散（DS）方式／直交周波数分割多重変調（OF）の無線装置で、干渉距離が約40 mであることを意味します。

5 GHz帯の無線LANをお使いになる場合のお願い
5 GHz帯の無線LANは、電波法の規制により、屋外で使用できません。また、日本国外では使用できません。（➡75ページ）

お客さまが2.4GHz帯11nモードで無線LANをお使いの際に、無線LANのデバイス・プロパティにて802.11nチャンネル幅を「自動」(40MHz帯域幅も可能)へ設定を変更される場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前に確認してください。また万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、本設定を20MHzへ戻してください。

これらの記号はヨーロッパ連合内でのみ有効です。
本製品を廃棄したい場合は、日本国内の法律等に従って廃棄処理をしてください。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

愛情点検　**長年ご使用のパソコンの点検を！**

こんな症状はありませんか	• 異常な音やにおいがする • 水や異物が入った	▶	このような症状のときは故障や事故防止のため、電源を切って電源プラグを抜き、その後バッテリーパックを取り外して、必ずご相談窓口に点検をご依頼ください。

パナソニック株式会社　ITプロダクツ事業部

〒570-0021　大阪府守口市八雲東町一丁目10番12号

SS0908-0
DFQW5210ZA

Printed in Japan